



2020年度(第64回)通常総代会議案書

第1号議案 2019年度活動報告・事業報告書および決算関係書類承認の件

- 1) 2019年度活動報告……P1
- 2) 2019年度決算報告……P15
- 3) 2019年度事業報告書および決算関係書類等……P21
- 4) 2019年度損失処理案……P50

2019年度監査報告……P51

第2号議案 2020年度事業計画及び予算決定の件

- 1) 2020年度活動計画……P52
- 2) 2020年度予算……P58

第3号議案 2019年度役員選出の件……P62

第4号議案 定款の一部変更……P63

第5号議案 役員選挙規約一部改定の件……P64

第6号議案 役員報酬決定の件……P64

第7号議案 議案効力発生の件……P65

日 時 : 2020年5月30日(土) 12時 00分

場 所 : 鶴甲第一キャンパス 国際文化学部食堂南側多目的ホール



第1号議案 2019 年度事業報告・事業報告書および決算関係書類承認の件

※第1号議案は 2019 年度の事業と活動を報告します。

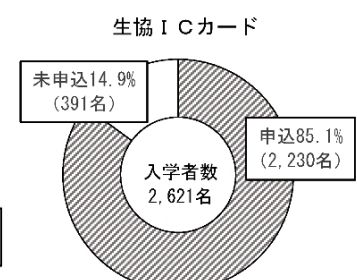
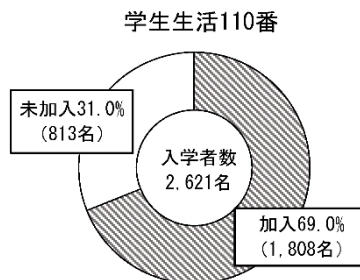
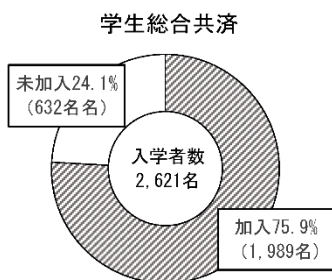
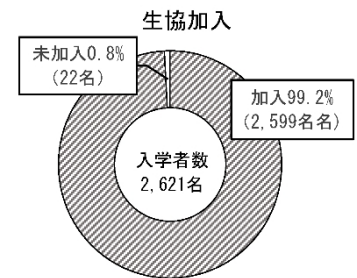
第1号議案－1 2019 年度活動報告

●概況

2019 年度の事業活動については、大きな変化のあった事業年度となりました。これは新入生支援活動や日々の活動にも現れております。

①新入生支援活動※1

前期・後期入試前日の新入生支援活動を、学内にて行えることになりました※2。やはり学外での実施とは異なり、住まい紹介をはじめ来場者数が大きく躍進しました。特に住まい紹介事業では、新システムへの移行に苦慮しましたが、来場者数・成約数で大きな成果を生みました。また、2019 度の新入生より、パソコンが必携となりました。必携化に際しては、大学「パソコン必携化プロジェクト」へのオブザーバー参加の依頼を頂き、生協としての意見をお伝えすることができました。また、神戸大学生協では初となる「入学準備説明会」と「食堂無料体験」を、大学主催の学生生活オリエンテーションと同日に開催し、生協の活動や新入生支援活動を直接入学予定者や保護者にお伝えすることができました。その結果、学習用パソコンの販売台数がこれまでの約 2 倍(550 台から 1,163 台)、生協 IC カードの申込が入学者の 70.2%から 75.7%の約 5.5%増、学食定期の申込が 220 名(入学者の約 8.4%)となりました。ただ、学習用パソコンは販売計画台数(1,500 台)には届かず、多くの在庫を抱える結果となりました。また、パソコンへのサポートパック付帯率や講習会の申込人数は逆に減少してしまい、手数料収入は減益となりました。活動環境の変化やあらたな取り組みもありましたが、情報宣伝活動に課題があったのではと思われます。ただ、2020 年度に向けて改善点が発見できたことも大きな成果です。



②営業時間等の見直し

過去3年の各クォーターにおけるキャンパス人口や滞留時間の変化を分析し、各店舗の営業時間を効率的かつ合理的な時間に変更しました。また、振替授業や試験予備日等の閉店や、夏季休校期間中の営業時間のさらなる短縮(閉店期間の延長)を行いました。クォーター制による厳しい事業環境下において組合員には不便をかける可能性が高いです

夕食営業終了のお知らせ

組合員の皆様へ

日頃は発達科学部食堂をご利用頂き誠に有難うございます。

2013年より組合員の皆様のご要望にお応えし、夕食営業を行なってまいりました。しかし、年々ご利用される組合員が減少し、現状での営業を継続する事が困難となってまいりました。

つきましては、10月末をもちまして授業期間中の夕食営業を終了させて頂き、定期試験期間ならびに卒業論文作成時期での夕食営業に変更させて頂きます。その際の話しい日程はポスターで掲示致します。

ご不便をお掛けしますが、何卒ご理解ご了承の程、よろしくお願致します。

2018年10月26日
神戸大学生協フードサービス事業部
発達科学部食堂

試験期間限定
発達科学部食堂
夕食営業のお知らせ

発達科学部食堂にて

1月27日(月)～30日(木)

17:30～19:00

夕食時の臨時営業を行います。

どうぞご利用ください。

夕食営業に際しまして、ご利用が年々減少し、残念ながら今回をもって終了せざるを得なくなりました。何卒ご理解の程、宜しくお願い致します。

が、苦渋の判断をしました。この見直しにより、経費圧縮に努めました(毎年、最低賃金が上昇しており、今後も人件費増は大きな課題です)。また、発達科学部食堂の夕食営業は、2018年11月より学期末試験や院試、卒論作成時期のみの営業に変更しましたが、利用者数の改善を図ることができず、残念ながら2019年度にて終了しました※3。

③クォーター制

4年目を迎えるクォーター制においても、変化の兆しがありました。特に第3クォーターでの利用が増加しており、2019年度の活動計画「+1を目指す」の成果と考えられます※4。

また、工学部2年生のギャップタームに関しては、これまでの2年生オリエンテーションでの説明や、学内留学相談会の開催により、留学への支援をこれまで以上に行うことができました(31名から66名に増)。

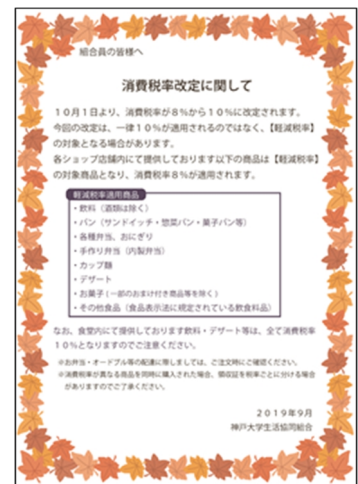
④キャッシュレス・消費者還元事業



10月より生協 IC カードが「キャッシュレス・消費者還元事業」※5の対象となり、生協 IC カード決済において、5~6ポイントの還元を実施することができました。その要因により、第4クォーターにおいても、これまでと異なり利用が増加しました。

⑤消費税率改定

10月1日から消費税率が改定されました。今回の改定はこれまでと異なり、軽減税率が初めて導入されました。食堂で食事を取る場合は10%、ショップにて弁当等を買う場合は8%と組合員の利用に際しては混乱を招く危険性がありました。POSレジのプログラム改修や商品価格の掲示変更、ポスター等による案内により、懸念していたトラブル等は発生することなく、無事に乗り切ることができました。消費税10%による食堂の利用減はさほどなかったと思われます。



⑥新型コロナウイルスの感染防止

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、2月の事業活動に大きな影響が発生しています。海外旅行、ケータリングのキャンセルが増加傾向となっております。

⑦経費

圧縮することを念頭に執行しましたが、消費税率変更に伴う印刷費用(掲示物やプライスカード等)、10月の最低賃金の改定※6、業務パソコンのWindows10対応やP2Kシステムの運用費、そして店舗、食堂の機器の修理は例年に変わらず発生しました。

また、生協職員も過去3年の経験から、経費に関してはこれまで以上に意識するようになり、合理的な店舗運営を心掛けていました。



※1)これまでの「新学期事業」を「新入生支援活動」と名称を変更しました。また、会議もこれまでの不定

期開催を固定開催に改善し、各事業部の職員(担当者や代表)が出席する方式に変更しました。

※2) 2019年2月25日(月)の前期入試、3月12日(火)の後期入試は学内での新入生支援活動を行うことができませんでした。ただ、2020年の前期入試、後期入試に際しては、入試会場ではない鶴甲第2キャンパスにて行うことができます。

※3) 夕食営業は、発達科学部食堂と海事科学部食堂が、学期末試験ならびに卒論作成期間に実施し、保健学科食堂は、大学の長期休校期間を除いて実施しています。鶴甲第2キャンパスは3年前の学部統合(国際文化学部と発達科学部)に伴う定員減少の影響で、2020年度には約200名減となります。そのため、利用されている組合員との意見交換会や説明会を開催し、発達科学部食堂の夕食営業終了と判断しました。

※4) 利用者は年間を通して、約61千人の減少となりましたが、営業時間の変更による要因も含まれています。

2012年度をベースとしての利用者数の前年度比較推移は以下の通りです。

〈単位:千人〉							
2012年度利用者	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
2,842	+78	▲35	+40	▲55	▲127	▲177	▲61

※5) 生協ICカードは、経済産業省の「キャッシュレス・消費者還元事業」の対象となり、2020年6月30日までの期間、生協ICカードにて決済しますと、100円につき5ポイントが還元されます。生協では、今までもポイント還元を実施しており、このポイントに加算しての還元となります。

※6) 最低賃金の改定(上昇)は今後も10月に実施され、兵庫県も1,000円に迫ると思われれます。2019年度は871円から899円に28円の改定です。

クォーター制開始以降、日々の事業活動は厳しくなっておりますが、2019年度は組合員の利用動向にあらたな動きも現れました。1年生の利用が中心となる鶴甲第1キャンパスの食堂・ショップ、六甲台第2キャンパスの工学部食堂、そして大倉山キャンパスの医学部食堂は安定し事業活動が行えています。

また、サービスセンターはこの間のグローバル支援の取り組みの成果により、供給高が大きく増収しています。ただ、鶴甲第2キャンパス(旧発達科学部)や六甲台第2キャンパスのLANSBOX食堂・ショップは苦戦を強いられています。その他の店舗に関しましても、一進一退の状況です。

このような状況のなか、今まで以上に新入生支援活動への依存が大きくなっています。これは収益だけでなく、4月以降の利用頻度も左右する傾向となっており、生協の活動・事業への影響力が高くなっています。2019年度は神戸大学のパソコン必携化により、これまで以上に学習用パソコンを販売することができました。ただその反面、計画販売台数未達成による在庫、サポートパックや講習会の申込は減少となり、手数料収入が大きく減益となりました。新入生支援活動にはまだ課題も多く、改善しなければならないことが多いです。学習用パソコンの計画販売台数未達成による供給予算乖離は、日々の事業活動(特に校費利用)にてほぼ取り返すことができ、供給高が26億円超となりましたが、手数料収入は取り返すことができませんでした。

結果、税引前当期損失金 約3,025万円、法人税約102万円を納付した後、当期損失金約3128万円となりました。

【1】組合員活動の報告

(1) 新入生(2,621名)の生協加入率は約99.2%(2,599名)であり、ほぼ全ての新入生に加入していただきました。学生総合共済への加入は、学研災付帯学生生活総合保険(付帯学総)との比較表を作成

食に関する生活相談を実施しています。食生活相談会のデータをもとに組合員の健康サポートがより充実するように大学の保健管理センターと意見交換を図っています。

※11)2017年度より、大倉山祭実行委員会の依頼により、食生活相談会を実施しています。

【2】2019年度の特徴的な事項(組合員、大学への貢献)

(1)設備改善並びに環境整備への投資

- 大きな施設改善はできませんでしたが、工学部食堂への混雑緩和を目的とした POS レジ増設、BELBOX ショップ・工学部店・発達科学部店・LANSBOX 店・海事科学部店の一部レイアウト変更を実施しました。厨房機器の修理や買い替えは例年同様に発生しています。
- 新生支援活動のホームページを一新しました。
- 保健学研究科A棟(食堂・ショップ)と海事科学部食堂の改修が2020年度に予定されています。改修に際して、利便性を向上(改善)するために保健学研究科・海事科学研究科と連携し、準備を進めています。

(2)組合員・大学への貢献活動

- 大学の学生生活オリエンテーションと同日(3/16・17・30)に、入学準備説明会を開催しました。多くの入学予定者と保護者が来場され、国際文化学部食堂にて食堂の利用体験を無料で実施しました。また、7月24日には「新生に聞いてみよう」企画を初めて開催しました。これは、生協の新生支援活動に関して、新生100人から意見を頂き、次年度の改善につなげる企画です。当日、学事日程の都合により、14名しか参加頂けませんでした。いろいろな意見を直接聞くことができ、成果と課題が明確となりました。
- 4月1日に開催しました「下宿オリエンテーション」に、122名と多くの新生が参加されました(4年目)。神戸市環境局による講話(ゴミの分別)と学生生活110番の担当者による講話(防犯の心得)を行いました。講話後は親睦を図るゲーム等を行い、初めての一人暮らしに対する不安を緩和することができました。
- 工学部の2年生オリエンテーションにて、語学留学に関する説明や案内を行うことができました(2年目)※12。
- ホームカミング日に協力しました(オリジナルボールペン無料進呈を第1回ホームカミング日より行っています)。
- 大学が行った新生への履修相談会に対して、学生委員会が協力しました。
- 生協出資金返還手続き時に神戸大学基金への寄付を募りました※13。
- 大学との業務委託関係(契約等)は以下の通りです。
 - ◇神戸大学構成員への福利厚生に対する業務委託契約・協定書・覚書
 - ◇瀧川記念学術交流会館食堂の運営に際しての業務受託
 - ◇学生ホール(食堂ホール)の光熱費の一部負担※14
 - ◇鶴甲第2キャンパスの污水管修理一部負担※15



- ◇英語外部試験 (TOEIC-IP・TOEFL-ITP) の実施
- ◇全学ソフトウェアライセンス (Microsoft の OS と Office) のインストールサポート
- ◇大倉山キャンパス (医学部医学科) を除く自動販売機設置管理業務 (5 年ごとに入札で 3 年目) ※16
- ◇学生証発行に際しての業務 ※17
- ◇入学試験合格者への書類発送業務 ※18
- ◇プリント課金システム運用業務
- ◇鶴甲第1キャンパス・六甲台第2キャンパス (文理農) の入構パスカード販売
- ◇神戸大学ブランドグッズの商品開発、販売 ※19
- ◇可燃ゴミ回収業務 (3 年ごとに入札)
- ◇英語外部試験受験料一部支援制度申請受付業務 ※20

※12) 工学部 2 年生は第 2 クォーターがギャップタームとなります。このギャップターム期間での留学に關する資料配布と語学留学相談会の案内を全学科にて行いました。

※13) 2019 年度の寄付金は 186,335 円でした (昨年度は 229,829 円)。

また 生協出資金返還時には、神戸大学学友会 (寄付額 16,000 円) ・ユニセフ (寄付額 24,316 円) ・留学生基金 (寄付額 26,000 円) への寄付も募っています。

※14) 厚生補導奨学寄付金として 200 万円を寄付しました。

※15) 学生厚生補導寄付金として 131,139 円を寄付しました。

※16) 自動販売機の供給高の一部として約 1,700 万円を納付しました。

※17) 学生証の表面に組合員番号の印字、裏面に生協加入シールを貼ることで組合員証として利用させて頂いています。学生証発行費用は生協が全額負担しています (約 430 万円)。また、同窓会・生協に対する個人情報共同利用に同意を頂いた新入生のデータは、大学より、提供頂けます。

※18) 発送費用は生協が全額負担しています (約 360 万円)。

※19) 2019 年度は契約書に則り、ロゴマーク使用料約 81 万円を大学に納付しました。

※20) 1 年生以外の対象学部生において、2018 年度より大学指定の英語外部試験を受験した場合、大学が受験料の一部支援 (QUO カード) を行います。その申請窓口業務を生協が請け負いました。

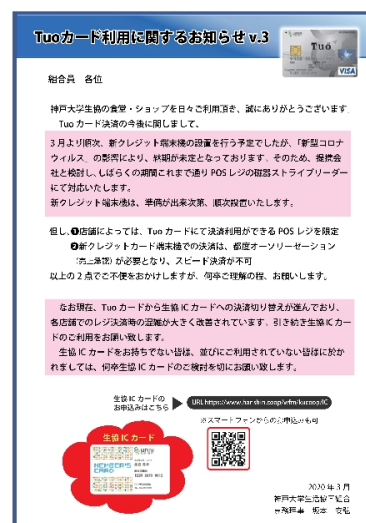
(3) Tuoカードの今後の取り扱い

割賦販売法の改正に伴い、現状のようなスピード決済が 2020 年 3 月以降にできなくなる可能性が大きいとの案内をしておりましたが、新クレジット端末機を設置することで継続して決済できることになりました。ただ、新型コロナウイルスの影響により、納期が未定です。

(4) キャリア形成支援活動

学内合同企業説明会 3 回、インターンシップ・業界説明会 13 回、学食トーク 3 回、関西企業との交流会 1 回の計 20 回のイベントと就職支援に関するセミナーを 4 回開催しました。これらのイベントの中でも関西企業との交流会は冊子作成の段階から神大生に参加頂いています。

イベントに参加する企業を神大生が訪問し、学生目線で取材した内容を冊子に掲載しています。就活生の支援だけでなく、神大生全体のキャリア形成にも貢献するイベントになっています。



【3】大学生協間連携

神戸親和女子大学生協と「相互協力に関する協定書」を締結しました。

この協定は、甲と乙が相互に連携及び協力し、相互の組織活動と業務活動の交流を図るとともに、相互の事業の安定化と大学生協の発展に貢献することを目的としております。

【4】神戸市消費生活センターとの連携

神戸市消費生活センターから依頼され、2019年3月より、「若者への消費者啓発」の広告を食堂トレイに実施することになりました。これは神戸大学生協だけでなく、神戸市内7大学生協同時に実施されます。



●「+1(プラス・ワン)を目指す」取り組み

ショップ事業部

《取り組み内容》

(1)もう1品、購入したくなる店舗を目指して

①価格訴求企画の取組

事業連合から提案される複数の価格訴求型企画の中から、インパクトのある値引き企画を選定し全店共通企画とし購入点数アップを図りました。

②催事企画

季節感の演出や店舗・棚の変化を定期的的に実施しマンネリ感をなくすと共に、「大学生協限定商品」や、「単位パン」等、大学生協らしい催事企画の取り組みを強化し通常商品とは別枠で選択頂ける商品企画の充実を行いました。

③事前告知強化

各企画の事前告知を強化することで来店動機アップを図りました。利用頻度の高い組合員へは「さらなる来店機会の増加」を、未来店者へは「利用動機につながる」を目指して、情報発信の充実にてを試みました。

④関連陳列

価格(お買い得)・催事(試験応援やクリスマス、ハロウィン等)、どちらの企画展開においても、企画当該商品だけの展開ではなく同一シリーズやフレーバー(風味)の違いなど、関連する商品を企画展開コーナー近くに陳列し、ついで買い等の需要を掘り起こす工夫を図りました。

(2)もう一度、行ってみたいくなる店舗を目指して

①事業連合店舗支援課によるスーパーバイザー実験導入店舗として、3店舗(BELBOX ショップ・発達科学部店・LANSBOX 店)を登録し、店舗のQSC※21改善に取り組みました。商品構成の見直し、レイアウト変更、週一回のSV 訪店によるQSC チェック指導を受け、指摘事項の改善に取り組んだ。

②ワクワク感を重視し、「組合員とスタッフが一緒に盛り上がる企画の取り組み」の一環として、その場で当たる抽選会や、くじ引き企画を実施しました。抽選やくじ引きの結果がその場でわかることで、店舗内の盛り上がり感が増幅し、企画に参加した組合員だけでなく、同伴者や周囲の来店者にも「ワクワク感」を広がる効果がありました。さらに店舗スタッフの積極的な関りで、組合員と一緒に盛り上がり店舗の活性化を図ることができました。

※21)QSCとは「クォリティー」「サービス」「クリンリネス」の3つです。

(3)学内競合との差別化を目指して

①手作り弁当(旧称:ほっかる弁当)の全店(六甲キャンパス)展開開始

学内のセブンイレブンで展開されていないカテゴリ商品であり、国際文化学部店だけの展開から、19年度は六甲地区の全店に展開しました。

②大学生協限定商品の積極的な展開

19年度も神戸大学グッズの商品開発や提案を行うことができました。

《成果》

スーパーバイバー実験導入後の食品3分類供給状況

分野	店舗名	SV実験導入後		SV実験導入前	
		10-12累計供給高		3-9累計供給高	
		予算増減率	前年増減率	予算増減率	前年増減率
菓子食品	Bell	-16.3%	-12.5%	-28.54	-23.64
	発達	-8.9%	-6.0%	-13.57	-10.64
	ランス	-2.3%	-2.4%	-16.19	-16.25
パン米飯	Bell	33.8%	21.2%	7	10
	発達	5.1%	-8.5%	-0.5	4.4
	ランス	13.0%	24.8%	-8.4	14.8
飲料デザート	Bell	-1.2%	0.6%	-10.74	-9.27
	発達	-13.6%	-11.7%	-13.1	-10.77
	ランス	-4.6%	-4.7%	-10.63	-10.68

(1)菓子食品分類では、導入3店舗の全てが第1・2クォーター時より大幅に改善が図れました。

(2)パン米飯・飲料デザート分類では、3店舗中2店舗で改善が進みました。

※発達科学部店は、鶴甲第2キャンパスに滞留する組合員数が減少した影響もあり単純比較はできません。

《課題》

(1)事業剰余金ベースで13店舗中、9店舗が赤字運営となっており早急な対策が必要な状態です。

正規職員の役割(専門性やマネジメント)を適正に、各店へ配分する必要があります。収益を残せている店舗は、新入生支援活動を担う4店舗(BELBOX・サービスセンター・学館・キャンパスPC)となっております。ただ、通常期の事業活動に限定すると、収支のバランスが取れていない店舗がほとんどです。

(2)通常期の事業活動において、適正な事業剰余を出せる運営体制への再構築が急務です。各店舗の稼働計画と作業割り当てを細部に亘って見直す必要があります。

フードサービス事業部

クォーター制も4年目に入り、2019年度は学生の動向も昨年と変わらず落ち着いてきました。利用客数も昨年に対し10月以降は少しずつ増加傾向にあり、利用が定着してきました。それに伴い一言カードも増加し、特にメニューに関しての要望が多く寄せられるようになりました。出来る限りご要望に応じていく事で利用にも繋がられたと思います。しかしながら、自然災害による授業の休講が多く、2月後半からは新型コロナウイルスの影響がありました。供給高は予算を646万円超過しましたが、事業剰余は最低賃金のアップによる人件費の増加、老朽化などによる設備の更新費用も重なり、残念ながら予算を115万円未達成の結果となりました。

《取り組みと課題》

(1) QSCについて

研修等の未開催でしたが、事業連合による点検と、事業連合から委託を受けた専門業者による現状調査の結果を基に改善を進めていくことで、レベルアップに繋げる事が出来ました。しかし、まだまだ食堂によっては取り組みの差は大きく、全食堂にて課題共有を行い、改善に取り組んでいく必要があります。

(2) 企画メニューについて

通常営業の期間は年間を通して途切れることなく企画メニューを実施しました。小さい店舗では出来ることに制限がありますが、売り切れなどに注意し全店舗揃ってしっかりと取り組む事が出来ました。特に生協祭の企画は好評で、神大ラーメン(シャンタンスープのラーメン)の選択率が29%になるなど、3日間の利用者数が予算比で5%も伸長しました。一方で、メニューに対するマンネリ化の声も多く頂いています。各食堂の環境に応じた企画メニューを実施するなど、日々の出食計画の精度を向上させなければなりません。

(3) 職員の育成

2年目の職員2名は10月よりそれぞれに、BELBOX カフェテリア、LANSBOX 食堂を担当してもらい、マネジメント学習を開始しました。新人職員1名は、国際文化学部食堂にて、大学生協のキャリアをスタートしました。3名とも順調に成長を遂げています。2021年度を見据えた新体制作りが急務となっており、来年度も更なるステップアップに挑戦してもらいます。

(4) 営業時間について

近年の最低賃金改定により、人件費が増加しています。運営の効率化を目指し、4月から営業時間の見直しを行いました。

- ・国際文化学部食堂の金曜日を15時オーダーストップに短縮。
- ・BELBOX カフェテリアを19時30分から19時15分(金曜日は19時オーダーストップ)に短縮。
- ・工学部食堂の金曜日を20時30分から19時30分にオーダーストップに短縮。
- ・LANSBOX 食堂は開店時間を11時に変更。

と各食堂利用の実態を分析し変更しました。また、発達科学部食堂の夕食営業についても、利用がさらに減少しており、11月より夕食営業は定期試験期のみ営業とさせて頂きました。今後も各食堂の利用動向を分析し検証していく必要があります。

(5) 手作り弁当の販売について

今年度から外売りで販売を鶴甲第1キャンパスのみとし、「手作り」「安心」「安全」をモットーとした生協らしいお弁当として、ショップでの販売に切り替えました。全体の販売数は昨年度の33,410個から51,452個と、54%の大幅な伸長となりました。

《報告事項》

(1) 保健学科食堂、海事科学部食堂の改装工事について

大学より2食堂の改装工事について話があり、打ち合わせを行いました。保健学科食堂については、2020年7月から2021年2月にかけて改装工事が行われます。工事期間中は厨房を使用する事が出来ない為、昼食対応をどうするのが課題です。海事科学部食堂については工事の内容、時期についてまだ検討中です。

(2) メニューの変更について

2020年3月よりライスの価格、分量の変更、一部メニューのリニューアルや減塩、さらにはバランスセットと夕食の内容を見直し価格を変更します。

(3)さらなる営業時間の変更について

2019年度の利用動向を検証した結果、2020年4月より以下の食堂にて営業時間を見直します。

- ・国際文化学部食堂の金曜日を15時からオーダーストップに短縮。
- ・BELBOX カフェテリアの月から木曜日を19時15分から19時30分オーダーストップに延長。
- ・LANSBOX 食堂の金曜日を14時オーダーストップに短縮。
- ・医学部食堂の金曜日を14時30分オーダーストップに短縮。
- ・発達科学部食堂の夕食営業は終了。

今後も、利用動向を分析し、利便性向上と運営効率(合理化)の高次なバランスを模索します。

キャリア・就職支援企画課

2019年度のテーマ「ひとりでも多くの組合員に、ひとつでも多く将来を考えるヒントを。」に則り、1年間活動を行いました。

(1)収入の増加

2018年度より収入を増やすことが出来ました。主な原因としては独自のインターンシップ説明会の増加、広告を内製化することによる経費削減等があります。

(2)独自イベントの増加

これまで行っていなかった10月にインターンシップ説明会を独自に開催し、企業は21社、学生は125名参加しました。

(3)外国人留学生組合員に対するキャリア・就職支援実施

神戸大学国際教育総合センターと協力し、学内および兵庫国際交流会館で外国人留学生対象のイベントを実施しました。

(4)2022年卒業予定学生からの就職活動スケジュール消滅に向けた施策開始

2022年卒業から現行の就職活動スケジュールが事実上消滅することを踏まえ、学生がそれぞれのタイミングで就職活動をスタートすることをフォローできるセミナーを実施しました。

(5)セミナー動員以外の組合員参加企画を実施

広く組合員に参加していただくため、これまで通常のアルバイトのみで行っていた冊子『関西企業特集』に掲載する企業取材のスタッフを公募しました。2名から応募があり、4社を訪問、記事を執筆しました。

(6)パソコン活用講座の実施

2019年度よりパソコン活用講座をキャリアデザイン企画課が実施することになりました。上級生対象の講座としては初となる「内定者・就活生のためのPCスキルレベルアップ講座」を11月に行い、また、従来の新入生対象の講座は講座の種類を増やし、540名の申込を得ることができました。ただ、新型コロナウイルス感染症の影響で対面での講座が出来なくなり、オンライン講座に切り替える対応を行いました。

2019年度神戸大学生協学生委員会活動報告

学生委員会委員長
栗 大輝

《冊子》

組合員向け機関紙 Rambler Times No.135～138(夏、秋、冬、春号)

【目的】

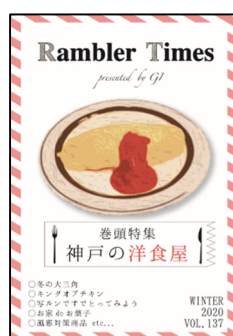
組合員が興味を持てる身近な発見を提供する。

【概要】

機関紙 Rambler Times の発行。

【発行部数】

No.135 1500部 No.136 1500部 No.137 1500部 No.138 3500部



受験生向け冊子(神大 Navigator'19)

【企画目的】

- ①神大の魅力を感じてもらうことで、勉強に対するモチベーションを高めてもらい、同時に神大を受けたいと思ってもらう。
- ②神戸大学が掲示していない情報を知ってもらい、神大生の大学生活を想像してもらい、同時に神大を受けたいと思ってもらう。

【企画概要】

「神大 Navigator'19」

【発行部数】

1,600部



新入生向け冊子(うりぼう2020)

【企画目的】

- ①新入生に神戸大学での生活について知ってもらう。
- ②新入生に生協のサービスについて知ってもらう。
- ③学生委員会の活動に興味を持ってもらう。

【概要】

「うりぼう2020」の発行

【発行部数】

3,500部



《イベント》

受験生相談会企画(TIS)

【企画目的】

- ①受験生と保護者が現役神大生の経験談や入試課から情報を得てもらい、不安を解決してもらおう。
- ②受験生が大学の魅力を理解することにより、受験勉強に対するモチベーションを向上してもらおう。

【企画概要】

- ①入試課の方と受験生相談会の開催(1階)
- ②大学生と受験生による座談会形式の相談会(2階)
- ③紙資料の配布
- ④絵馬コーナーと参考書の展示

【本番日時・場所・結果】

日時:8月23日

場所:神戸大学百年記念館

結果:参加者 235人



受験生相談会企画(Ambitions)

【企画目的】

- ①受験生の二次試験に対する不安を解消・緊張を軽減し、受験生がリラックスして試験に臨めるようにする。
- ②慢性的にある受験期の不安を解消し、心にゆとりを持ってもらう。
- ③慢性的にある受験期のストレスに対して、神戸大学での大学生活の魅力を知り、受験のモチベーションを上げてもらう。
- ④受験生や保護者に、神戸大学生協・生協学生委員会の存在や活動を知ってもらい、良いイメージを持ってもらう。

【企画概要】

- ①二次試験前日に受験生相談会を開催
- ②ネット上で受験生の不安を解決・モチベアアップさせるコンテンツを実施

【本番日時・場所・結果】

日時:2月24日

場所:六甲道勤労市民センター

結果:参加者 25組



環境啓発企画(CAN☆DO)

【企画目的】

組合員の環境に対する認識を変える、何か行動してみようと思ってもらう

【企画概要】

- ①食堂の廃油を元にキャンドルを作り、大学内をライトアップするイベントを開催。
- ②学内にポスター展示。
- ③生協手作り弁当の回収率に関するキャンペーンを実施。

【本番日時・場所・結果】

日時:10月28日、30日

場所:鶴甲第1キャンパス

参加人数:約150人



【企画概要】

- ①参加のハードルが低いイベント・キャンペーンを行う。
- ②学生委員会の情報宣伝を行う。

【本番時期・結果】

本番期間:7月8日～7月19日(福引)、6月24日～7月5日(購買キャンペーン)

古紙回収企画(PRP)

【企画目的】

組合員に継続して古紙を入れてもらう。
組合員に古紙回収に興味を持ってもらう。

【企画概要】

古紙を集める。
二択アンケートをする。
環境保全に関するPOPを作成する。

【本番時期・結果】

1年間で約500kgの古紙を回収しました。

企画分析&健康啓発企画(JJ)

【企画目的】

- ①過去企画・アンケートから組合員の参加ニーズを分析しまとめることで、後代の学生委員に、より参加ニーズを捉えた企画を立案してもらう。
- ②組合員の参加ニーズに沿った企画を打つことで、学生委員会への信頼度、親近感を向上させると共に、参加ニーズを捉えることの重要性を学生委員会内で共有する。

【企画概要】

- ①過去に行ったアンケートを分析する。
- ②過去に行った企画を分析する。
- ③①、②を踏まえて組合員の要望に沿った企画の立案(健康啓発福引キャンペーン企画)。

【本番時期・結果】

企画分析結果:11月6日に全体発表

健康啓発本番期間:11月5日～11月11日(福引)

《学生委員会内学習》

内部スキルアップ企画(技術の深堀井)

【企画目的】

- ①各企画の講習の質の差によって、部員のスキルに差が生じている。
- ②企画総責任者は、同じ内容の講習を各々が作っているため、非効率的で負担が重い。
- ③委員は、企画に役立つツールを活用できておらず、現状使える物に甘んじている

【企画概要】

- ①各講習(イラストレーター、デザイン、画像)を作り、全体発表を行う。
- ②講習を生かした成果物を作る。
 - ・食堂パフェのポスター掲示:7月頃
 - ・講習の全体発表:8月8日、22日

【本番時期・結果】

全体発表:8月8日、22日

成果物:7月に食堂パフェのポスター掲示

第1号議案－2 2019年度決算報告

生協は組合員の皆様の出資金によって運営されています。安定した剰余が確保できるように努力し、施設改修や機器の購入等に耐え得る経営体力が必要です。また、生協の事業や活動に必要な備品・設備は、組合員の皆様の大切な財産です。適正な財産並びに収支の管理が重要です。

●2019年度決算概要

台風・地震・豪雨等による臨時閉店・短縮営業、キャンパス滞留人口の変動による利用人数の大きな減少。また、厳しい環境下での新入生支援活動。大きな損失金を計上する結果となりました。

●2019年度決算詳細

【1】収入

総供給高は26億378万円で、前年対比+6.3%、予算対比△0.4%となりました。

ショップ事業部は総供給高18億68万円で前年対比+9.8%、予算対比△0.3%、フードサービス事業部は、総供給高7億3,143万円で前年対比△0.9%、予算対比+0.9%、総務部(自動販売機)は総供給高7,165万円、前年対比△2.3%、予算対比△13.5%です。

その他事業収入は、新入生支援活動関係の手数料が計画通りと行かず(予算未達成)となり、前年対比+0.5%、予算対比△19.8%となりました。

それ以外では事業外収益、特別利益が収入となります。

※供給値引は書籍購入時の値引金額を表しており、通常7～10%値引を行っています。これは組合員への利用還元を表しています。

※事業外収益は、取引企業からの協賛や協力金、国からのキャッシュレス決済還元の補助金を計上しています。

※特別利益は、未返還の組合員出資金を一旦利益計上しています。これは入学年から12年を経過した未返還出資金が対象となります。

註:利益計上後に出資金返還の申請があった場合は速やかに返還しています。

【2】支出

商品や原材料を仕入れるための費用(仕入高)と人件費と物件費に分類されます。

人件費は5億5,249万円(前年対比+0.5%、予算対比+0.2%)です。

10月の最低賃金改定の影響が大きいです。また、次世代職員の採用を進めています。

物件費は3億1,534万円(前年対比+1.1%、予算対比+0.8%)です。

Windows10への業務パソコン入替、システム運用費、POSレジのリース料が増加しています。水光熱費は、営業時間等をこれまでの実績をもとに分析し、柔軟に対応した結果、削減できています。

【3】剰余

収入から支出を引きました金額 約3,025万円が税引前当期損失金です。

この損失金から、法人税(兵庫県、神戸市の納付)約102万円を引きました金額 約3,128万円が当期損失金です。店舗別損益対比表と各事業部別損益対比表は以下の通りです。

店舗別損益対比表

2019年3月1日～2020年2月29日

(単位：万円)

	供給高			供給剰余			事業収入			人件費			
	本年実績	前年差	予算差	本年実績	前年差	予算差	本年実績	前年差	予算差	本年実績	前年差	予算差	
ショッピング事業部	国際文化学部	32,667	▲222	283	5,285	47	▲34	5,505	103	14	4,677	247	▲275
	医学部	17,795	792	405	2,557	122	▲155	3,046	▲1	▲284	2,536	▲2	▲300
	保健学科	2,633	▲250	▲184	473	▲9	▲124	473	▲10	▲126	327	9	2
	BELBOX	19,676	521	▲1,781	3,102	52	▲176	3,128	46	▲187	1,373	▲127	309
	発達科学部	2,515	▲130	▲144	553	▲36	▲35	553	▲37	▲40	410	19	65
	工学部	1,960	148	▲57	528	31	▲5	528	30	▲8	427	▲58	▲13
	海事科学部	5,822	265	323	777	▲73	▲146	782	▲76	▲152	440	11	16
	サービスセンター	50,348	6,621	6,110	4,184	598	600	8,000	990	575	2,696	▲273	▲141
	LANSBOX	5,255	▲144	▲891	1,100	▲15	▲133	1,105	▲12	▲133	944	34	31
	学生会館	22,456	▲134	▲158	3,716	103	▲137	4,321	83	▲311	2,527	55	▲85
	附属学校	560	▲178	▲220	121	▲39	▲66	121	▲39	▲67	176	▲12	▲18
	店舗支援課	61	▲1	61	35	▲8	35	189	38	81	2,776	▲346	▲534
キャンパスPC	18,321	8,749	▲4,202	3,130	1,455	▲917	5,456	2,097	▲1,892	1,002	▲360	▲710	
ショッピング事業部計	180,069	16,037	▲455	25,561	2,228	▲1,293	33,207	3,212	▲2,530	20,311	▲803	▲1,653	
総務	総務部	0	0	0	▲14	▲14	▲14	4,466	▲930	▲1,252	8,633	446	1,095
	事業支援課	7,166	▲168	▲1,114	2,036	▲13	▲232	2,242	▲19	▲247	180	▲123	▲85
	総務部計	7,166	▲168	▲1,114	2,022	▲27	▲246	6,708	▲949	▲1,499	8,813	323	1,010
フードサービス事業部	国際文化学部	11,915	▲261	672	6,898	62	613	6,898	62	613	3,909	▲10	201
	BELBOX	9,455	▲187	▲170	5,315	▲133	74	5,315	▲133	74	2,920	▲50	66
	さくら	8,763	266	277	5,693	36	189	5,693	36	189	2,776	▲131	▲85
	工学部	17,071	193	86	9,350	57	67	9,350	57	67	4,565	▲46	85
	LANSBOX	8,648	▲234	▲195	4,669	▲162	▲115	4,669	▲162	▲115	2,560	▲425	▲128
	滝川会館	1,115	▲25	▲22	609	▲23	▲21	609	▲23	▲21	441	10	▲1
	発達科学部	2,002	▲307	▲212	1,061	▲141	▲125	1,061	▲141	▲125	720	▲52	36
	医学部	10,542	165	119	6,158	97	162	6,158	97	162	2,965	106	▲3
	保健学科	1,554	5	27	938	17	49	938	17	49	630	31	35
	海事科学部	2,079	▲35	66	1,106	▲19	16	1,106	▲19	16	712	19	49
	食堂事務所	0	0	0	▲1	5	▲1	0	5	0	3,926	1,292	515
	フードサービス事業部計	73,144	▲420	648	41,796	▲204	908	41,797	▲204	909	26,124	744	770
総合計	260,379	15,449	▲921	69,379	1,997	▲631	81,712	2,059	▲3,120	55,248	264	127	

	物件費			内事業連合委託費	事業剰余			事業外損益	経常剰余			当期剰余金	
	本年実績	前年差	予算差		本年実績	前年差	予算差		本年実績	前年差	予算差		
ショッピング事業部	国際文化学部	1,223	▲370	101	293	▲395	225	188	0	▲395	189	188	▲395
	医学部	681	▲84	3	149	▲170	85	13	0	▲170	88	11	▲170
	保健学科	208	8	15	32	▲62	▲27	▲143	1	▲61	▲26	▲142	▲61
	BELBOX	845	69	120	180	910	104	▲616	9	919	116	▲613	919
	発達科学部	273	▲9	25	32	▲130	▲47	▲130	0	▲130	▲44	▲130	▲130
	工学部	207	6	18	29	▲106	82	▲13	0	▲106	82	▲13	▲106
	海事科学部	352	22	76	50	▲10	▲110	▲244	▲3	▲12	▲112	▲246	▲12
	サービスセンター	1,684	6	135	233	3,620	1,257	580	91	3,711	1,303	592	3,711
	LANSBOX	459	5	49	68	▲297	▲51	▲214	4	▲293	▲50	▲214	▲293
	学生会館	790	16	▲11	223	1,004	12	▲215	23	1,028	28	▲200	1,028
	附属学校	92	16	▲13	11	▲148	▲43	▲36	0	▲148	▲43	▲36	▲148
	店舗支援課	410	76	155	0	▲2,997	308	460	0	▲2,997	308	60	▲2,997
キャンパスPC	1,112	483	▲46	223	3,341	1,975	▲1,136	10	3,351	1,985	▲1,126	3,351	
ショッピング事業部計	8,336	244	627	1,523	4,560	3,770	▲1,506	135	4,697	3,824	▲1,869	4,697	
総務	総務部	7,573	▲1,984	▲279	1,935	▲11,740	608	▲2,069	357	▲11,383	498	▲2,049	▲10,491
	事業支援課	2,119	1,316	▲164	0	▲57	▲1,212	2	▲16	▲72	▲1,227	▲14	▲72
	総務部計	9,692	▲668	▲443	1,935	▲11,797	▲604	▲2,067	341	▲11,455	▲729	▲2,063	▲10,563
フードサービス事業部	国際文化学部	2,257	60	77	314	732	11	335	0	732	20	335	724
	BELBOX	1,856	180	▲42	263	539	▲263	50	▲1	538	▲262	49	538
	さくら	1,037	▲10	▲122	275	1,880	178	397	0	1,880	178	397	1,880
	工学部	2,436	262	▲36	467	2,349	▲159	19	▲2	2,347	▲157	17	2,347
	LANSBOX	1,772	130	145	239	336	133	▲132	▲2	334	134	▲135	334
	滝川会館	203	▲1	4	0	▲35	▲32	▲24	0	▲35	▲31	▲24	▲35
	発達科学部	504	▲61	▲50	0	▲163	▲28	▲111	▲3	▲165	▲29	▲113	▲165
	医学部	1,527	100	49	300	1,666	▲109	116	0	1,666	▲109	116	1,665
	保健学科	399	7	▲23	0	▲91	▲21	37	0	▲91	▲21	37	▲91
	海事科学部	435	▲9	49	0	▲41	▲29	▲82	0	▲41	▲29	▲82	▲41
	食堂事務所	1,080	106	33	194	▲5,005	▲1,394	▲547	586	▲4,419	▲1,140	▲711	▲4,419
	フードサービス事業部計	13,506	764	84	2,052	2,167	▲1,713	58	578	2,746	▲1,446	▲114	2,737
総合計	31,534	340	268	5,510	▲5,070	1,453	▲3,515	1,054	▲4,012	1,649	▲4,046	▲3,129	

神戸大学生協 損益比較表

(単位:円)

科目	前年実績	本年予算	本年実績	対前年 増減	対前年 増減率	対予算 増減	対予算 増減率
供給高	2,449,286,896	2,613,012,000	2,603,782,111	154,495,215	6.3	▲9,229,889	▲0.4
供給値引	23,036,186	30,291,000	20,029,312	▲3,006,874	▲13.1	▲10,261,688	▲33.9
純供給高	2,426,250,710	2,582,721,000	2,583,752,799	157,502,089	6.5	1,031,799	0.0
当月期首商品棚卸高	228,708,716	0	238,430,661	9,721,945	4.3	238,430,661	
仕入高	1,762,118,238	0	1,835,501,470	73,383,232	4.2	1,835,501,470	
当月期末商品棚卸高	238,430,661	0	183,994,323	▲54,436,338	▲22.8	183,994,323	
供給剰余金	673,854,417	700,131,000	693,814,991	19,960,574	3.0	▲6,316,009	▲0.9
G P R	27.8%	27.1%	26.9%	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0
利用剰余金	0	0	0	0		0	
共済受託手数料収入	17,432,046	17,600,000	17,733,118	301,072	1.7	133,118	0.8
教育文化事業収入	966,214	930,000	917,133	▲49,081	▲5.1	▲12,867	▲1.4
供給事業手数料収入	936,387	1,158,000	704,528	▲231,859	▲24.8	▲453,472	▲39.2
その他手数料収入	103,383,889	128,525,000	103,978,629	594,740	0.6	▲24,546,371	▲19.1
その他事業収入計	122,718,536	148,213,000	123,333,408	614,872	0.5	▲24,879,592	▲16.8
事業総剰余金	796,572,953	848,344,000	817,148,399	20,575,446	2.6	▲31,195,601	▲3.7
役員報酬	8,666,870	9,368,000	8,460,552	▲206,318	▲2.4	▲907,448	▲9.7
職員給与	130,492,433	135,378,000	131,471,478	979,045	0.8	▲3,906,522	▲2.9
定時職員給与	337,118,535	338,006,000	339,111,904	1,993,369	0.6	1,105,904	0.3
退職給付費用	11,768,712	4,440,000	7,285,298	▲4,483,414	▲38.1	2,845,298	64.1
法定福利費	41,833,269	43,464,000	44,755,426	2,922,157	7.0	1,291,426	3.0
厚生費	5,613,018	5,869,000	6,804,053	1,191,035	21.2	935,053	15.9
役員退職給与引当金繰入	480,000	570,000	768,000	288,000	60.0	198,000	34.7
賞与引当金繰入	11,264,557	9,300,000	11,370,544	105,987	0.9	2,070,544	22.3
派遣人件費	2,633,488	4,802,000	2,468,313	▲165,175	▲6.3	▲2,333,687	▲48.6
人件費合計	549,870,882	551,197,000	552,495,568	2,624,686	0.5	1,298,568	0.2
教育文化費	3,192,637	3,287,000	2,980,368	▲212,269	▲6.6	▲306,632	▲9.3
広報費	11,276,374	17,850,000	15,159,743	3,883,369	34.4	▲2,690,257	▲15.1
消耗品費	55,094,132	48,291,000	51,092,252	▲4,001,880	▲7.3	2,801,252	5.8
物流費	2,170,998	70,000	0	▲2,170,998	▲100.0	▲70,000	▲100.0
車輛運搬費	8,727,082	7,715,000	7,642,234	▲1,084,848	▲12.4	▲72,766	▲0.9
貸倒引当金繰入	0	0	0	0		0	
施設維持管理費	24,136,438	23,763,000	24,314,376	177,938	0.7	551,376	2.3
減価償却費	18,476,507	18,442,000	19,171,239	694,732	3.8	729,239	4.0
賃借料	6,176,081	5,099,000	7,299,620	1,123,539	18.2	2,200,620	43.2
水道光熱費	45,417,054	47,341,000	44,183,322	▲1,233,732	▲2.7	▲3,157,678	▲6.7
保険料	1,441,370	1,456,000	1,411,985	▲29,385	▲2.0	▲44,015	▲3.0
委託料	34,612,353	33,725,000	39,802,367	5,190,014	15.0	6,077,367	18.0
研修採用費	3,355,667	3,539,000	3,264,632	▲91,035	▲2.7	▲274,368	▲7.8
調査研究費	1,098,866	1,098,000	576,602	▲522,264	▲47.5	▲521,398	▲47.5
会議費	1,562,695	1,583,000	1,761,932	199,237	12.7	178,932	11.3
諸会費	8,555,841	8,562,000	8,613,101	57,260	0.7	51,101	0.6
渉外費	552,098	518,000	554,341	2,243	0.4	36,341	7.0
租税公課	1,046,804	1,114,000	819,823	▲226,981	▲21.7	▲294,177	▲26.4
通信交通費	12,148,987	12,090,000	12,369,323	220,336	1.8	279,323	2.3
雑費	20,274,235	20,911,000	19,220,877	▲1,053,358	▲5.2	▲1,690,123	▲8.1
事業連合委託費	52,630,121	56,234,000	55,106,000	2,475,879	4.7	▲1,128,000	▲2.0
物件費合計	311,946,340	312,688,000	315,344,137	3,397,797	1.1	2,656,137	0.8
事業経費合計	861,817,222	863,885,000	867,839,705	6,022,483	0.7	3,954,705	0.5
事業剰余金	▲65,244,269	▲15,541,000	▲50,691,306	14,552,963	22.3	▲35,150,306	▲226.2
事業外収益	10,349,589	15,891,000	24,350,590	14,001,001	135.3	8,459,590	53.2
事業外費用	1,696,075	0	13,782,218	12,086,143	712.6	13,782,218	
経常剰余金	▲56,590,755	350,000	▲40,122,934	16,467,821	29.1	▲40,472,934	▲563.7
特別利益	15,265,000	0	9,948,000	▲5,317,000	▲34.8	9,948,000	
特別損失	910,673	0	83,879	▲826,794	▲90.8	83,879	
税引前当期剰余金	▲42,236,428	350,000	▲30,258,813	11,977,615	28.4	▲30,608,813	▲745.4
法人税等	1,023,000	0	1,023,000	0	0.0	1,023,000	
当期剰余金	▲43,259,428	350,000	▲31,281,813	11,977,615	27.7	▲31,631,813	▲37.7
当期首繰越剰余金	0	0	0	0		0	
目的積立金取崩額	31,373,102	0	0	▲31,373,102	▲100.0	0	
当期末処分剰余金	▲27,996,163	350,000	▲31,281,813	▲3,285,650	▲11.7	▲31,631,813	▲37.7

事業部門別 損益比較表

【ショップ事業部】

科目	前年実績	本年予算	本年実績	対前年			
				増減	増減率	対予算増減	対予算増減率
供給高	1,640,312,180	1,805,241,000	1,800,689,173	160,376,993	9.8	▲4,551,827	▲0.3
供給値引	23,032,783	22,267,000	20,027,273	▲3,005,510	▲13.0	▲2,239,727	▲10.1
純供給高	1,617,279,397	1,782,974,000	1,780,661,900	163,382,503	10.1	▲2,312,100	▲0.1
当月初商品棚卸高	223,725,727	0	234,245,754	10,520,027	4.7	234,245,754	
仕入高	1,394,470,805	0	1,470,402,885	75,932,080	5.4	1,470,402,885	
当期末商品棚卸高	234,245,754	0	179,594,346	▲54,651,408	▲23.3	179,594,346	
供給剰余金	233,328,619	268,550,000	255,607,607	22,278,988	9.5	▲12,942,393	▲4.8
G P R	14.4%	15.1%	14.4%	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0
利用剰余金	0	0	0	0		0	
共済受託手数料収入	0	0	0	0		0	
教育文化事業収入	0	0	0	0		0	
供給事業手数料収入	811,662	1,108,000	558,513	▲253,149	▲31.2	▲549,487	▲49.6
その他手数料収入	65,826,591	87,715,000	75,909,515	10,082,924	15.3	▲11,805,485	▲13.5
その他事業収入計	66,638,253	88,823,000	76,468,028	9,829,775	14.8	▲12,354,972	▲13.9
事業総剰余金	299,966,872	357,373,000	332,075,635	32,108,763	10.7	▲25,297,365	▲7.1
役員報酬	0	0	0	0		0	
職員給与	85,501,311	87,695,000	75,613,404	▲9,887,907	▲11.6	▲12,081,596	▲13.8
定時職員給与	104,468,015	106,915,000	105,686,973	1,218,958	1.2	▲1,228,027	▲1.1
退職給付費用	0	0	0	0		0	
法定福利費	16,988,650	18,608,000	17,650,843	662,193	3.9	▲957,157	▲5.1
厚生費	1,547,893	1,598,000	1,683,929	136,036	8.8	85,929	5.4
役員退職給与引当金繰入	0	0	0	0		0	
賞与引当金繰入	0	0	0	0		0	
派遣人件費	2,633,488	4,802,000	2,468,313	▲165,175	▲6.3	▲2,333,687	▲48.6
人件費合計	211,139,357	219,618,000	203,103,462	▲8,035,895	▲3.8	▲16,514,538	▲7.5
教育文化費	0	0	0	0		0	
広報費	6,186,101	7,121,000	6,950,482	764,381	12.4	▲170,518	▲2.4
消耗品費	10,121,531	10,017,000	12,461,324	2,339,793	23.1	2,444,324	24.4
物流費	2,170,998	70,000	0	▲2,170,998	▲100.0	▲70,000	▲100.0
車輛運搬費	5,988,538	5,089,000	5,385,560	▲602,978	▲10.1	296,560	5.8
貸倒引当金繰入	0	0	0	0		0	
施設維持管理費	4,117,614	3,883,000	4,489,526	371,912	9.0	606,526	15.6
減価償却費	4,082,861	4,222,000	3,887,312	▲195,549	▲4.8	▲334,688	▲7.9
賃借料	2,178,113	1,894,000	1,877,056	▲301,057	▲13.8	▲16,944	▲0.9
水道光熱費	5,729,708	6,061,000	5,448,881	▲280,827	▲4.9	▲612,119	▲10.1
保険料	820,330	828,000	767,780	▲52,550	▲6.4	▲60,220	▲7.3
委託料	16,099,825	16,280,000	20,925,021	4,825,196	30.0	4,645,021	28.5
研修採用費	812,783	701,000	371,504	▲441,279	▲54.3	▲329,496	▲47.0
調査研究費	589,252	572,000	321,184	▲268,068	▲45.5	▲250,816	▲43.8
会議費	446,672	391,000	474,456	27,784	6.2	83,456	21.3
諸会費	216,200	216,000	222,460	6,260	2.9	6,460	3.0
渉外費	8,500	3,000	926	▲7,574	▲89.1	▲2,074	▲69.1
租税公課	14,900	11,000	9,800	▲5,100	▲34.2	▲1,200	▲10.9
通信交通費	4,794,822	4,514,000	4,542,639	▲252,183	▲5.3	28,639	0.6
雑費	463	0	890	427	92.2	890	
事業連合委託費	16,561,671	15,240,000	15,240,000	▲1,321,671	▲8.0	0	0.0
物件費合計	80,940,882	77,113,000	83,376,801	2,435,919	3.0	6,263,801	8.1
事業経費合計	292,080,239	296,731,000	286,480,263	▲5,599,976	▲1.9	▲10,250,737	▲3.5
事業剰余金	7,886,633	60,642,000	45,595,372	37,708,739	478.1	▲15,046,628	▲24.8
事業外収益	1,461,283	5,011,000	1,421,841	▲39,442	▲2.7	▲3,589,159	▲71.6
事業外費用	607,196	0	55,096	▲552,100	▲90.9	55,096	
経常剰余金	8,740,720	65,653,000	46,962,117	38,221,397	437.3	▲18,690,883	▲28.5
特別利益	0	0	0	0		0	
特別損失	17	0	0	▲17	▲100.0	0	
税引前当期剰余金	8,740,703	65,653,000	46,962,117	38,221,414	437.3	▲18,690,883	▲28.5

【フードサービス事業部】

〈単位：円〉

科目	前年実績	本年予算	本年実績	対前年 増減	対前年 増減率	対予算 増減	対予算 増減率
供給高	735,635,792	724,971,000	731,433,006	▲4,202,786	▲0.6	6,462,006	0.9
供給値引	3,403	8,024,000	2,039	▲1,364	▲40.1	▲8,021,961	▲100.0
純供給高	735,632,389	716,947,000	731,430,967	▲4,201,422	▲0.6	14,483,967	2.0
当月初首商品棚卸高	4,982,989	0	4,346,144	▲636,845	▲12.8	4,346,144	
仕入高	314,964,687	0	313,497,057	▲1,467,630	▲0.5	313,497,057	
当期末商品棚卸高	4,346,144	0	4,399,977	53,833	1.2	4,399,977	
供給剰余金	420,030,857	408,901,000	417,987,743	▲2,043,114	▲0.5	9,086,743	2.2
G P R	57.1%	57.0%	57.1%	0.0	0.0	0.0	0.0
利用剰余金	0	0	0	0		0	
共済受託手数料収入	0	0	0	0		0	
教育文化事業収入	0	0	0	0		0	
供給事業手数料収入	0	0	0	0		0	
その他手数料収入	3,900	0	3,800	▲100	▲2.6	3,800	
その他事業収入計	3,900	0	3,800	▲100	▲2.6	3,800	
事業総剰余金	420,034,757	408,901,000	417,991,543	▲2,043,214	▲0.5	9,090,543	2.2
役員報酬	0	0	0	0		0	
職員給与	36,763,191	38,609,000	41,146,935	4,383,744	11.9	2,537,935	6.6
定時職員給与	197,746,889	195,290,000	199,172,610	1,425,721	0.7	3,882,610	2.0
退職給付費用	0	0	0	0		0	
法定福利費	15,803,097	15,940,000	16,948,546	1,145,449	7.2	1,008,546	6.3
厚生費	3,514,646	3,714,000	3,993,511	478,865	13.6	279,511	7.5
役員退職給与引当金繰入	0	0	0	0		0	
賞与引当金繰入	0	0	0	0		0	
派遣人件費	0	0	0	0		0	
人件費合計	253,827,823	253,553,000	261,261,602	7,433,779	2.9	7,708,602	3.0
教育文化費	28,612	16,000	39,181	10,569	36.9	23,181	144.9
広報費	177,075	379,000	223,582	46,507	26.3	▲155,418	▲41.0
消耗品費	29,528,013	29,887,000	29,603,342	75,329	0.3	▲283,658	▲0.9
物流費	0	0	0	0		0	
車輛運搬費	1,172,959	1,307,000	1,193,007	20,048	1.7	▲113,993	▲8.7
貸倒引当金繰入	0	0	0	0		0	
施設維持管理費	14,729,842	14,411,000	15,738,868	1,009,026	6.9	1,327,868	9.2
減価償却費	13,182,258	12,889,000	13,952,530	770,272	5.8	1,063,530	8.3
賃借料	108,000	108,000	59,856	▲48,144	▲44.6	▲48,144	▲44.6
水道光熱費	38,855,956	40,425,000	38,025,758	▲830,198	▲2.1	▲2,399,242	▲5.9
保険料	341,430	346,000	341,430	0	0.0	▲4,570	▲1.3
委託料	11,139,993	10,103,000	11,387,158	247,165	2.2	1,284,158	12.7
研修採用費	2,225,838	2,204,000	2,401,647	175,809	7.9	197,647	9.0
調査研究費	318,392	333,000	78,560	▲239,832	▲75.3	▲254,440	▲76.4
会議費	173,693	191,000	260,374	86,681	49.9	69,374	36.3
諸会費	0	0	0	0		0	
渉外費	8,400	0	0	▲8,400	▲100.0	0	
租税公課	3,100	30,000	4,500	1,400	45.2	▲25,500	▲85.0
通信交通費	1,140,912	1,076,000	1,083,086	▲57,826	▲5.1	7,086	0.7
雑費	139,157	11,000	140,039	882	0.6	129,039	173.1
事業連合委託費	14,137,032	20,520,000	20,520,000	6,382,968	45.2	0	0.0
物件費合計	127,410,662	134,236,000	135,052,918	7,642,256	6.0	816,918	0.6
事業経費合計	381,238,485	387,789,000	396,314,520	15,076,035	4.0	8,525,520	2.2
事業剰余金	38,796,272	21,112,000	21,677,023	▲17,119,249	▲44.1	565,023	2.7
事業外収益	3,343,861	7,510,000	5,873,140	2,529,279	75.6	▲1,636,860	▲21.8
事業外費用	209,602	0	81,877	▲127,725	▲60.9	81,877	
経常剰余金	41,930,531	28,622,000	27,468,286	▲14,462,245	▲34.5	▲1,153,714	▲4.0
特別利益	0	0	0	0		0	
特別損失	548,851	0	83,879	▲464,972	▲84.7	83,879	
税引前当期剰余金	41,381,680	28,622,000	27,384,407	▲13,997,273	▲33.8	▲1,237,593	▲4.3

【総務部】

〈単位：円〉

科目	前年実績	本年予算	本年実績	対前年 増減	対前年 増減率	対予算 増減	対予算 増減率
供給高	73,338,924	82,800,000	71,659,932	▲1,678,992	▲2.3	▲11,140,068	▲13.5
供給値引	0	0	0	0		0	
純供給高	73,338,924	82,800,000	71,659,932	▲1,678,992	▲2.3	▲11,140,068	▲13.5
当月初商品棚卸高	0	0	▲161,237	▲161,237		▲161,237	
仕入高	52,682,736	0	51,602,760	▲1,079,976	▲2.0	51,602,760	
当期末商品棚卸高	▲161,237	0	0	161,237	100.0	0	
供給剰余金	20,494,951	22,680,000	20,218,409	▲276,542	▲1.3	▲2,461,591	▲10.9
G P R	27.9%	27.4%	28.2%	0.0	0.0	0.0	0.0
利用剰余金	0	0	0	0		0	
共済受託手数料収入	17,432,046	17,600,000	17,733,118	301,072	1.7	133,118	0.8
教育文化事業収入	966,214	930,000	917,133	▲49,081	▲5.1	▲12,867	▲1.4
供給事業手数料収入	124,725	50,000	146,015	21,290	17.1	96,015	192.0
その他手数料収入	37,553,398	40,810,000	28,065,314	▲9,488,084	▲25.3	▲12,744,686	▲31.2
その他事業収入計	56,076,383	59,390,000	46,861,580	▲9,214,803	▲16.4	▲12,528,420	▲21.1
事業総剰余金	76,571,334	82,070,000	67,079,989	▲9,491,345	▲12.4	▲14,990,011	▲18.3
役員報酬	8,666,870	9,368,000	8,460,552	▲206,318	▲2.4	▲907,448	▲9.7
職員給与	8,227,931	9,074,000	14,711,139	6,483,208	78.8	5,637,139	62.1
定時職員給与	34,903,631	35,801,000	34,252,321	▲651,310	▲1.9	▲1,548,679	▲4.3
退職給付費用	11,768,712	4,440,000	7,285,298	▲4,483,414	▲38.1	2,845,298	64.1
法定福利費	9,041,522	8,916,000	10,156,037	1,114,515	12.3	1,240,037	13.9
厚生費	550,479	557,000	1,126,613	576,134	104.7	569,613	102.3
役員退職給与引当金繰入	480,000	570,000	768,000	288,000	60.0	198,000	34.7
賞与引当金繰入	11,264,557	9,300,000	11,370,544	105,987	0.9	2,070,544	22.3
派遣人件費	0	0	0	0		0	
人件費合計	84,903,702	78,026,000	88,130,504	3,226,802	3.8	10,104,504	13.0
教育文化費	3,164,025	3,271,000	2,941,187	▲222,838	▲7.0	▲329,813	▲10.1
広報費	4,913,198	10,350,000	7,985,679	3,072,481	62.5	▲2,364,321	▲22.8
消耗品費	15,444,588	8,387,000	9,027,586	▲6,417,002	▲41.5	640,586	7.6
物流費	0	0	0	0		0	
車輛運搬費	1,565,585	1,319,000	1,063,667	▲501,918	▲32.1	▲255,333	▲19.4
貸倒引当金繰入	0	0	0	0		0	
施設維持管理費	5,288,982	5,469,000	4,085,982	▲1,203,000	▲22.7	▲1,383,018	▲25.3
減価償却費	1,211,388	1,331,000	1,331,397	120,009	9.9	397	0.0
賃借料	3,889,968	3,097,000	5,362,708	1,472,740	37.9	2,265,708	73.2
水道光熱費	831,390	855,000	708,683	▲122,707	▲14.8	▲146,317	▲17.1
保険料	279,610	282,000	302,775	23,165	8.3	20,775	7.4
委託料	7,372,535	7,342,000	7,490,188	117,653	1.6	148,188	2.0
研修採用費	317,046	634,000	491,481	174,435	55.0	▲142,519	▲22.5
調査研究費	191,222	193,000	176,858	▲14,364	▲7.5	▲16,142	▲8.4
会議費	942,330	1,001,000	1,027,102	84,772	9.0	26,102	2.6
諸会費	8,339,641	8,346,000	8,390,641	51,000	0.6	44,641	0.5
渉外費	535,198	515,000	553,415	18,217	3.4	38,415	7.5
租税公課	1,028,804	1,073,000	805,523	▲223,281	▲21.7	▲267,477	▲24.9
通信交通費	6,213,253	6,500,000	6,743,598	530,345	8.5	243,598	3.7
雑費	20,134,615	20,900,000	19,079,948	▲1,054,667	▲5.2	▲1,820,052	▲8.7
事業連合委託費	21,931,418	20,474,000	19,346,000	▲2,585,418	▲11.8	▲1,128,000	▲5.5
物件費合計	103,594,796	101,339,000	96,914,418	▲6,680,378	▲6.4	▲4,424,582	▲4.4
事業経費合計	188,498,498	179,365,000	185,044,922	▲3,453,576	▲1.8	5,679,922	3.2
事業剰余金	▲111,927,164	▲97,295,000	▲117,964,933	▲6,037,769	▲5.4	▲20,669,933	▲21.2
事業外収益	5,544,445	3,370,000	17,055,609	11,511,164	207.6	13,685,609	406.1
事業外費用	879,277	0	13,645,245	12,765,968	451.9	13,645,245	
経常剰余金	▲107,261,996	▲93,925,000	▲114,554,569	▲7,292,573	▲6.8	▲20,629,569	▲22.0
特別利益	15,265,000	0	9,948,000	▲5,317,000	▲34.8	9,948,000	
特別損失	361,805	0	0	▲361,805	▲100.0	0	
税引前当期剰余金	▲92,358,801	▲93,925,000	▲104,606,569	▲12,247,768	▲13.3	▲10,681,569	▲11.4

第1号議案—3 事業報告書および決算関係書類等

2019 年度事業報告書

2019 年 3 月 1 日から 2020 年 2 月 29 日

作成 2020 年 3 月 28 日
備付 2020 年 5 月 9 日

兵庫県神戸市灘区六甲台町
神戸大学生協同組合
理事長 西野 友年

I. 組合の事業活動の概況に関する事項

1. 事業年度の末日における重要な事業活動の内容

事業種目		主な事業品目等
供給 及び 利用事業	物品供給	書籍・学用品・教育機器・衣料品・電気製品・家具・その他組合員の日常生活に必要な物資を供給する事業
	サービス 提供	国内・海外旅行等の旅行事業を取り扱う事業 アパート・下宿の斡旋及び管理する事業 その他日常生活に必要なサービスを提供する事業
		組合員に食事を提供する事業
その他	組合員のための生命共済・火災共済の業務受託事業 組合員への教育・文化活動 就職活動支援情報提供の各種の取り組み、留学生等の支援、外国の協同組合との交流	

2. 事業の経過及びその成果並びに対処すべき重要な課題

(1) 事業方針

キャンパス人口の流動化や滞留時間減少は、今後も継続されると考えられます。キャンパス内での活動に制限されます大学生協としては、いかにキャンパスに滞留している組合員にアクションを起こすかが肝要となります。2017 年度・2018 年度に掲げました事業方針「見える化」と「キャンパススパイラルの向上」は、まだまだできていない事もありますが、ある一定の成果を挙げつつあると考えられます。

2019 年度は、この 2 つの事業方針「見える化」と「キャンパススパイラルの向上」を踏襲し、「神戸大学生協職員行動指針」をベースに、【+1（プラス・ワン）を目指す】を事業方針とします。

【+1 を目指す】は、組合員の未来※27 を確実に変えるという信念と覚悟をもって、以下の 3 つの実現に向けて活動します。これには、各事業部により具現化した方針が必要であり、各店舗は相応の創意工夫が必要となります。各店舗のコンセプトをいま一度見詰め直し、かつ生協は神戸大学のキャンパスコミュニティーの一員である自覚がより必要となります。また、労務費の上昇傾向は今後続くことから、より正規職員・定時職員・パートタイマーの各職員の「働き方改革」が必要となります。定時職員とパートタイマーで店舗が運営できるように、そして正規職員はより高次の業務やあらたな事業開拓に進まなければなりません。そのためには、店舗運営をより簡素に、より合理的に行わなければなりません。これに関しては、大学生協事業連合のツールやスキルを最大限に利用します。そして営業時間に関しても、組合員の利用動向を把握した上で圧縮する必要があります。これは組合員の利便性を損ねる可能性も含んでいますが、クォーター制を導入している神戸大学の現環境下では、否応無しに判断せざるを得ないです。ただ、闇雲に圧縮するのではなく、利用のコアタイムをしっかりと分析した上で、ある一定の配慮のもとに実施します。未来に亘り、神戸大学生協が組合員のキャンパスライフに寄り添い、支援し続ける「持続可能な活動計画」の一環として必要と考えます。

(2) 経済及び事業環境

4 年目となるクォーター制に関して、これまでとは異なる組合員の動向となっており、利用回復の兆しがあります。2019 年度からのパソコン必携化や、前期・後期入試の前日での活動をキャンパス内にて開催できました。10 月には「キャッシュレス・消費者還元事業主」の認可が下りました。2 月からの「新型コロナウイルス感染拡大防止」により、苦しい事業環境となりました。

(3) 事業の状況

- ①2019 年度からのパソコン必携化に際して、神戸大学生協オリジナルパソコンの販売台数が大きく増加しましたが、販売計画台数未達成となりました。また、パソコンに付帯するサービスの申し込みも減少しました。
- ②これまでの分析により、店舗の営業時間を柔軟に対応した結果、水道光熱費の削減ができました。

- ③大学のグローバル推進への対応により、語学留学等の海外旅行関係が増収となりました。
 ④正規職員採用（次々世代の育成）と最低賃金改定（パートタイマー）に伴い、人件費増加しました。
 ⑤今年度で運用開始3年目となる生協 IC カードは、1年生の約85%が生協 IC カードを申し込まれました。
 結果、1から3年生の生協 IC カードの利用が増え、レジ混雑の緩和に成果が表れています。ただ、学食定期は運用開始初年度のため、申し込みは少なかったです。

(4) 事業経費

1) 組合員数及び出資金

当期末の組合員数は20,449名で前年より605名増加し、出資金は3億7,245万円で前年より1,043万円増加しました。教職員や留学生の加入が増加しました。

2) 供給事業

総供給高は26億68万円で、前年対比+6.3%、予算対比△0.4%となりました。

ショップ事業部は総供給高18億68万円で前年対比+9.8%、予算対比△0.3%、フードサービス事業部は、総供給高7億3,143万円で前年対比△0.6%、予算対比+0.6%、総務部（自販売機）は総供給高7,165万円、前年対比△2.3%、予算対比△13.5%です。

3) その他事業

新入生支援活動で手数料が大きく減収となりました。学生総合共済は昨年度実績より増収・キャリア支援活動は少し増収となりました。

その結果、1億2,333万円で前年対比+0.5%、予算対比△16.8%となりました。

4) 事業経費

人件費は5億5,249万円（前年対比+0.59%、予算対比+0.2%）です。

物件費は3億1,534万円（前年対比+1.1%、予算対比+0.8%）です。

人件費は、最低賃金の改定による影響が大きいです。物件費は業務用パソコンの入替に掛かる費用、経年劣化に伴う厨房機器等の入替・修理ありました。

5) 事業外損益・特別損益

事業外収益では、トレイ広告実施料、DM発送費用の協力金、廃棄ダンボールの回収、キャッシュレス決済還元補助金。事業外損失では、特別利益計上後に返還請求があった出資金、キャッシュレス決済ポイントが大きな割合を占めています。

特別利益は、未返還の出資金の整理に伴う戻入を計上しました。

6) 当期剰余金

経常損失金で4,012万円となり、税引前当期損失金は、3,025万円となりました。なお、法人税等を控除した当期損失金は、3,128万円です。

3. 対処すべき重要な課題

重要な展望と課題

新入生支援活動の再構築が大きな課題です。施設面では、大学による保健学科食堂・ショップと海事科学部食堂の改装が計画されております。特に保健学科食堂とショップは、長期間の閉店となる可能性が大きいです。

また、「新型コロナウイルス感染拡大防止」の観点から、事業や活動に大きな制限が発生すると思われれます。

(1) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

(単位：円)

項目	2016年度	2017年度	2018年度	本年度
組合員数	18,985	18,928	19,844	20,449
出資金額	351,048,000	348,742,000	362,017,000	372,455,000
供給高	2,499,974,629	2,533,469,796	2,449,286,896	2,603,782,111
その他事業収入	142,873,071	126,334,917	122,718,536	123,333,408
経常剰余金	△7,741,424	△44,348,724	△56,590,755	△40,122,934
総資産	947,164,414	967,649,614	963,868,136	874,139,841
純資産	436,649,784	403,392,163	373,407,735	352,563,922

(2) 供給事業の状況表

1) 部門別・業態別供給高の状況

(単位：円)

部門別	2016年度	2017年度	2018年度	本年度
部門別供給高				
購買	892,470,398	900,745,214	852,777,703	939,813,886
旅行	419,704,608	470,569,036	470,622,315	540,856,919
書籍	430,947,911	398,151,610	394,081,828	377,242,141
食堂	755,593,216	762,792,190	730,745,849	744,924,024
その他	1,258,496	1,211,746	1,059,201	945,141
合計	2,499,974,629	2,533,469,796	2,449,286,896	2,603,782,111
業態別供給高				
店舗	2,482,781,039	2,517,036,226	2,441,679,936	2,596,019,951
カタログ	17,193,590	16,433,570	7,606,960	7,762,160
合計	2,499,974,629	2,533,469,796	2,449,286,896	2,603,782,111

「業態別供給高」のカタログ供給は店舗を通過しない供給です。

2) 供給高の事業所別内訳

(単位：円)

店舗名	2016年度	2017年度	2018年度	本年度
国際文化学部店	353,885,867	350,830,621	328,886,142	326,671,128
医学部店	185,493,996	184,236,883	170,025,826	177,946,439
保健学科店	33,891,239	32,179,147	28,824,247	26,325,261
BELBOX ショップ	181,086,751	185,700,855	191,552,344	196,763,604
発達科学部店	31,858,204	30,525,538	26,455,580	25,151,229
工学部店	24,288,643	20,975,905	18,119,733	19,599,306
海事科学部ショップ	64,183,561	64,944,362	55,569,938	58,218,225
サービスセンター	373,308,542	428,349,918	437,275,667	503,482,108
LANSBOX 店	65,408,002	58,633,534	53,988,062	52,552,812
学生会館店	249,444,281	217,532,962	225,898,438	224,559,041
附属中等学校店	9,224,995	7,655,233	7,375,672	5,599,136
店舗支援課(旧購買事務所)	0	611,112	617,778	611,112
キャンパスP	92,065,306	105,680,082	95,722,753	183,209,772
事業支援室	72,130,432	76,678,497	73,338,924	71,659,932
国際文化学部食堂	134,526,942	127,493,845	121,759,597	119,148,220
BELBOX カフェテリア	97,823,798	99,196,680	96,424,766	94,551,123
レストランさくら	86,565,384	89,842,790	84,969,752	87,629,057
工学部食堂	179,274,127	179,276,818	168,780,210	170,707,200
LANSBOX 食堂	90,838,701	93,091,179	88,825,106	86,482,598
瀧川記念会館食堂	10,512,495	10,890,939	11,399,926	11,149,982
発達科学部食堂	27,212,104	27,120,275	23,082,222	20,016,302
医学部食堂	101,062,082	105,224,442	103,766,532	105,418,678
保健学科食堂	16,107,974	15,915,638	15,490,522	15,541,150
海事科学部食堂	19,781,203	20,882,541	21,137,159	20,788,696
合計	2,499,974,629	2,533,469,796	2,449,286,896	2,603,782,111

(3) 受託共済事業状況表

1) 加入者数の状況

	共済事業の種類		加入者数		
	元受団体名	コース等	本年度	前年度	前年比
学生総合共済 (生命共済)	大学生協共済連	A型	4,060	10,115	△59.9%
		B型	5,777		
		M型	1		
		U型	4		
		小計	9,842	10,115	△2.7%
学生総合共済 (火災共済)	大学生協共済連	KW型	3,360	5,217	△35.6%
		小計	3,360	5,217	△35.6%
合計			13,202	15,332	△13.9%

(注) 2020年2月29日現在

2) 元受団体共済掛金及び共済金支払の状況

(単位：円)

共済事業の種類		元受団体共済掛金			共済金支払件数			共済金支払金額		
	元受団体名	本年度	前年度	前年比	本年度	前年度	前年比	本年度	前年度	前年比
生命共済	全国大学生協共済連	135,201,150	130,085,750	103.9%	883	537	164.4%	50,552,000	54,400,000	92.9%
火災共済	全国大学生協共済連	6,714,990	10,452,300	64.2%	6	4	150.0%	830,155	1,178,042	70.5%
合計		141,916,140	140,778,000	100.8%	889	541	164.3%	51,382,155	60,717,720	84.6%

3. 増資及び資金の借り入れその他資金調達状況
記載する事項はありません。

4. 組合が所有する施設の建設または改修その他の設備投資状況

設備投資概況表

施設・設備名		所在地	適用
国際文化学部店	冷蔵ショーケース	神戸市灘区鶴甲1-2-1	19年11月取得
国際文化学部食堂	コンビオープン	神戸市灘区鶴甲1-2-1	19年5月取得
BELBOX カフェテリア	コンビオープン	神戸市灘区六甲台町2-1	19年8月取得
レストランさくら	冷蔵庫	神戸市灘区六甲台町2-1	19年3月取得
LANSBOX 食堂	食器洗浄機、アルミパネル	神戸市灘区六甲台町1-1	19年5月取得
LANSBOX 食堂	シンク	神戸市灘区六甲台町1-1	19年9月取得
医学部食堂	冷凍庫	神戸市中央区楠長7-12-1	19年3月取得
保健学科食堂	冷凍庫 3台	神戸市須磨区友ヶ丘7-10-2	19年3月取得

5. 他の法人との業務上の提携

業務提携先	所在地	提携内容
生活協同組合連合会大学生協事業連合	東京都杉並区和田3-30-22	業務委託
国立大学法人 神戸大学	神戸市灘区六甲台町1-1	業務受託

6. 他の会社を子会社等及び関連法人等とすることとなる場合における当該他の会社の株式または持分の取得
該当する事項はありません。

7. 事業の全部または一部の譲渡又は譲受け、合併その他の組織の再編成
該当する事項はありません。

8. 教育事業の状況

(単位：円)

項 目		金 額
当期に繰り越された教育事業等繰越金		0
教育事業等の使途		
科 目	内 容	金 額
教育文化費	組合員むけ機関紙費用	956,771
	新入生企画	835,567
	学生組織委員会活動費	665,521
	組合員むけ企画諸費用	310,013
	大学生協連教育文化費	107,160
	セミナー参加費	102,315
	その他	3,021
合 計		2,980,368

II. 組合の運営組織の状況に関する事項

1. 前事業年度における総代会の開催状況
通常総代会

開 催 日	2019年5月23日	
総 代 会 日 現 在 総 代 数		132名
出 席 総 代 数	本 人	46名
	代理人 (委任)	0名
	書 面	86名
	合 計	132名
(重要な議事及び議決事項)		
第1号議案	2018年度活動報告(案)・決算(案) 剰余金処分(案)承認の件	賛成127票 保留4票
第2号議案	2019年度活動方針(案) 予算(案)承認の件	賛成127票 反対1票 保留3票
第3号議案	2019年度役員選出の件	信任投票
第4号議案	役員報酬の件	賛成126票 反対1票 保留4票
第5号議案	議案効力発生の件	拍手による採決
以上により全議案を可決・採択しました。		

(注) 総代選挙は、総代選挙規約に基づいて行われ、135人の定数に対して132人が立候補し、選挙の結果 2019年4月30日当選人が公告されました。

2. 組合員に関する事項

(1) 組合員出資金等増減表

(単位：円)

区 分	人員	口数	組合員出資金総額	一人当組合員出資金額
期首現在 総計	19,844	362,017	362,017,000	18,000
当期増加分 (学生・院生)	3,834	75,728	75,728,000	20,000
当期増加分 (教職員その他)	591	3,256	3,255,500	6,000
当期減少分 (学生・院生)	3,431	66,576	66,576,000	19,000
当期減少分 (教職員その他)	389	1,970	1,969,500	5,000
期末現在 総計	20,449	372,455	372,455,000	18,000

(2) 地区別組合員概況表

(単位：円)

区 分	人員	口数	出資金額	一人当たり	
1. 国際文化学部地区	学生・院生	4,352	82,657	82,657,000	19,000
	教職員	77	445	445,000	6,000
2. 六甲台地区	学生・院生	4,265	80,440	80,440,000	19,000
	教職員	75	757	757,000	10,000
3. 文理農学部地区	学生・院生	3,389	66,263	66,263,000	20,000
	教職員	596	3,901	3,901,000	7,000
4. 工学部地区	学生・院生	2,823	54,480	54,480,000	19,000
	教職員	61	588	588,000	10,000
5. 発達科学部地区	学生・院生	906	17,610	17,610,000	19,000
	教職員	37	313	313,000	8,000
6. 楠地区	学生・院生	1,098	21,405	21,405,000	19,000
	教職員	133	1,466	1,466,000	11,000
7. 名谷地区	学生・院生	913	18,175	18,175,000	20,000
	教職員	12	115	115,000	10,000
8. 深江地区	学生・院生	1,026	20,310	20,310,000	20,000
	教職員	11	155	155,000	14,000
9. 附属中等教育学校地区	学生・院生	631	3,155	3,155,000	5,000
	教職員	44	220	220,000	5,000
1～9 計	学生・院生	19,403	364,495	364,495,000	19,000
	教職員	1,046	7,960	7,960,000	8,000
総計		20,449	372,455	372,455,000	18,000

3. 役員に関する事項

(1) 役員一覧

役名	氏名	担当	就任	略歴等
理事長 (代表理事)	西野 友年	ショップ事業部長 学生委員会委員長	2009年5月27日	2019年5月より理事長 理学研究科教員
専務理事 (代表理事)	坂本 安弘		2015年5月28日	2015年5月より専務理事 株式会社コープリビングサービス取締役 株式会社UCF関西社員 神戸親和女子大学生協専務理事
常任理事	湯浅 英男		2015年5月28日	国際文化科学研究科教員
〃	岡川 功		2018年5月24日	生協職員
〃	吉田 朋高		2018年5月24日	農学研究科1年生
〃	栗 大輝		2019年5月23日	経営学部1年生
理事	向井 洋一		2013年5月27日	工学研究科教員
〃	加藤 佳子		2014年5月22日	人間発達環境学研究科教員
〃	横川 博一		2015年5月28日	大学推進機構教員
〃	朴 鐘祐		2015年5月28日	人文学研究科教員
〃	石丸 幸勢		2015年5月28日	附属中等教育学校教員
〃	笹 健児		2016年5月26日	海事科学研究科教員
〃	渡邊 優衣		2015年5月28日	工学研究科2年生
〃	片岡 亮太		2017年5月25日	経営学部4年生
〃	高木 大輝		2018年5月24日	農学部3年生
〃	川崎 隆生		2018年5月24日	経済学部3年生
〃	菊池 菜々子		2018年5月24日	国際人間科学部3年生
〃	木村 祐一		2016年5月26日	生協職員
〃	山本 直輝		2019年5月23日	工学部3年生
〃	東 朋樹		2019年5月23日	工学部3年生
〃	横澤 瑠晟		2019年5月23日	法学部2年生
〃	若宮 聖真		2019年5月23日	経済学部2年生
〃	金澤 海渡	2019年5月23日	経営学部2年生	
〃	山本 七颯	2019年5月23日	国際人間科学部2年生	
監事	長谷川 浩樹		2016年5月26日	学生支援課長
〃	大谷 恭弘		2017年5月25日	工学研究科職員
〃	吉元 えりか		2019年5月23日	経済学部3年生

(2) 事業年度中に辞任した役員
該当なし

4. 職員数及びその増額その他の職員の状況

職員状況表

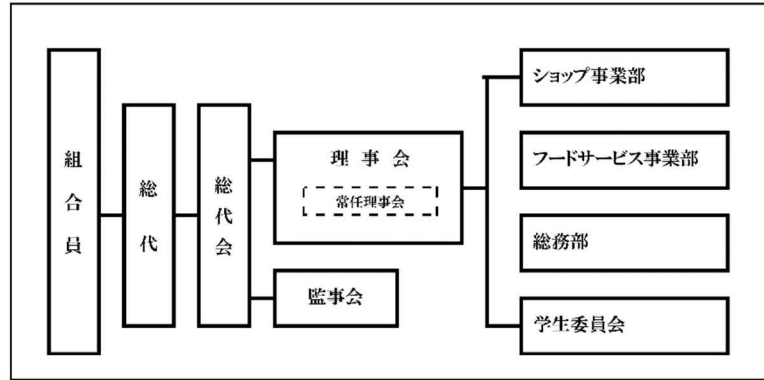
区分		前期末数	当期末数	平均年齢 平均勤続年数
正規職員		22名	22名	42歳0ヶ月 13年6ヶ月
定時職員	時間数 (総数)	288,205時間 (276名)	281,922時間 (276名)	
	正規換算数	144名	141名	

(注1) 正規職員の総人数は、年間2,000時間をもって1名として換算しています。

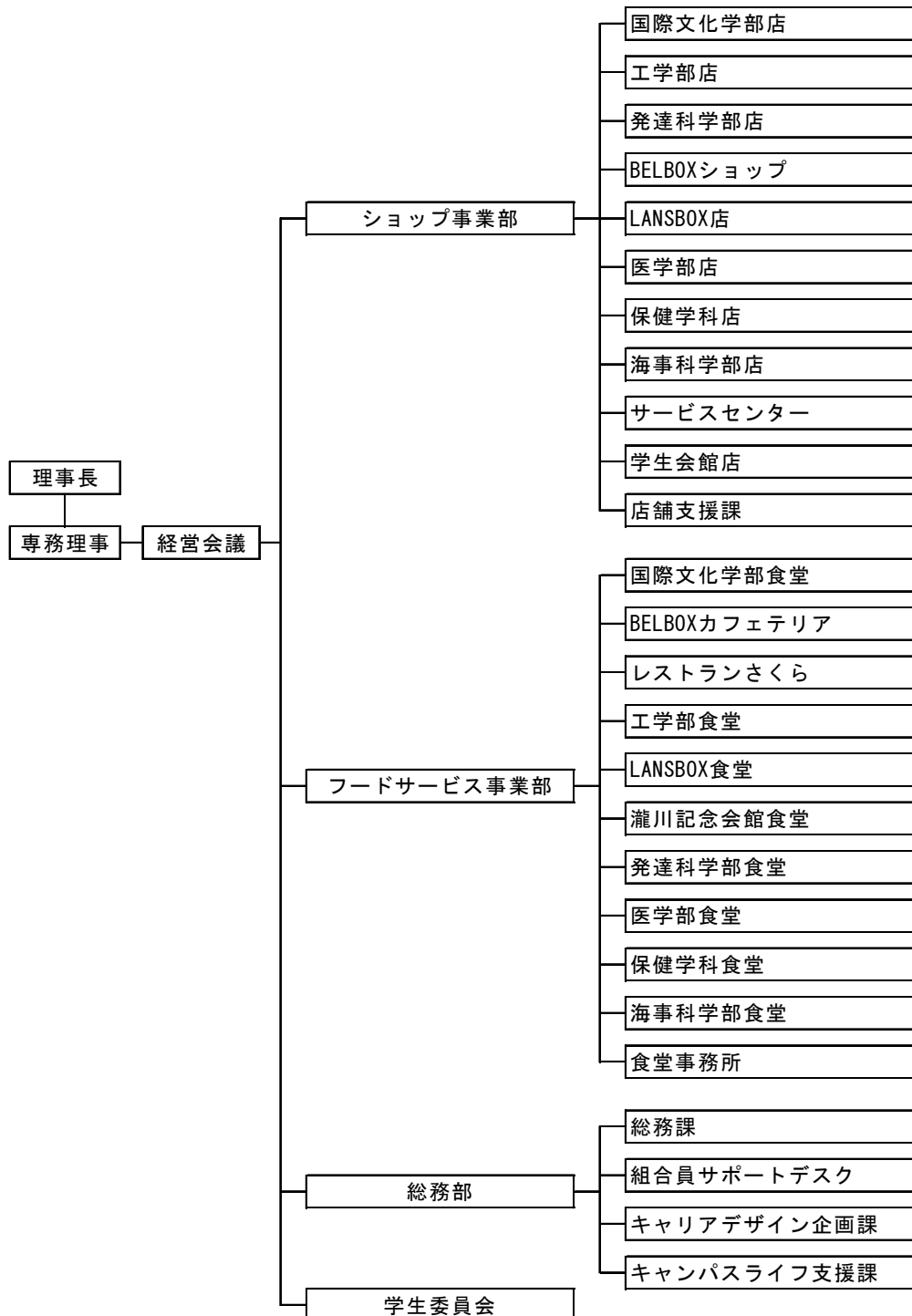
(注2) 上表には出向受入者5名を含んでいません。

5. 業務の運営の組織に関する事項

(1) 運営組織図



(2) 経営組織図



6. 施設の設置状況に関する事項

施設一覧表

施設名	所在地	面積 (㎡)	概要	
1. 総務部	灘区鶴甲 1-2-1	199.19	1987年4月新営	2013年9月改装
2. 食堂・喫茶・ショップ				
国際文化学部食堂	灘区鶴甲 1-2-1	960	1964年3月新営 2008年12月改装	1994年9月増築 2016年9月改装
カフェテリア・パンショップ	灘区鶴甲 1-2-1		1964年3月新営 2016年2月改装 (業態変更)	2008年12月改装
BELBOX カフェテリア	灘区六甲台町 2-1	939	2003年1月新営	
レストランさくら	灘区六甲台町 2-1	352	2003年1月新営	
工学部食堂	灘区六甲台町 1-1	391	1973年3月新営 2014年8月改装	2006年2月改装
ランスボックス食堂	灘区六甲台町 1-1	533	1985年4月新営 2016年9月2階食堂改装	
発達科学部食堂	灘区鶴甲 3-11	378	1968年11月新営 2008年12月改装	2007年3月改装
医学部医学科食堂	中央区楠町 7-5-1	489	1988年4月新営	
医学部保健学科食堂	須磨区友が丘 7-10-2	240	1984年4月新営	
滝川記念学会館食堂	灘区六甲台町 1-1	190	1991年10月新営	
海事科学部食堂	東灘区深江南町 5-1-1	224	2003年10月新営	
国際文化学部店	灘区鶴甲 1-2-1	406.64	1964年3月新営 2008年8月改装	1979年11月増築
サービスセンター	灘区鶴甲 1-2-1	82.69	1964年3月新営 2008年12月改装	1996年9月増築
学生会館店	灘区六甲台町 1-1	321.3	1966年3月新営 2008年12月改装	2000年7月改装
BELBOX ショップ	灘区六甲台町 2-1	345.92	2003年1月新営	
工学部店	灘区六甲台町 1-1	50.7	1973年3月新営 2005年8月改装	2001年8月増築 2014年8月改装
ランスボックス店	灘区六甲台町 1-1	132.82	1985年4月新営 2006年9月改装 2012年9月改装	2005年9月改装 2011年2月改装
発達科学部店	灘区鶴甲 3-11	68.04	1968年11月新営 2007年3月改装	1982年10月改装 2008年12月改装
医学部医学科店	中央区楠町 7-5-1	206.21	1988年4月新営	2010年8月改装
医学部保健学科店	須磨区友が丘 7-10-2	48.75	1984年4月新営	2010年12月改装
海事科学部ショップ	東灘区深江南町 5-1-1	107.8	2003年10月新営	
附属中等学校店	東灘区住吉山手 5-11-1	25.28	2014年10月新営	2015年4月営業開始
3. 倉庫				
書類倉庫	灘区鶴甲 1-2-1	45.13	2002年10月新設	

神戸大学生協は、国立大学法人神戸大学より土地・建物を無償で使用させていただいています。

この表では、当該施設の面積（単位 ㎡）と新営・増築、または改装の時期を示しています。

なお、食堂は厨房面積ではなく、食堂ホール部分も含めて表示しております。

総務部は、土地を国立大学法人神戸大学より使用させていただき、建物自身は生協の負担で建てています。

7. 子会社等及び関連法人等の状況に関する事項

該当する事項はありません。

8. 事業連合に関する事項

(1) 事業連合の概要

区分	関連法人等		
会社名	生活協同組合連合会大学生協事業連合		
所在地	東京都杉並区和田 3-30-22		
代表者名	理事長 椿 弘次		
設立年月日	1969年10月1日創立、同年12月19日都知事認可		
事業内容	<p>(1) 会員の事業に必要な物資を購入し、これに加工もしくは加工しないで、又は生産して会員に供給する事業</p> <p>(2) 会員の組合員の生活に有用な協同施設を設置し、会員及び会員の組合員に利用させる事業</p> <p>(3) 会員の組合員の生活の改善及び文化の向上を図るために必要な行事等の企画及び実施又はこれらに関連する情報を提供する事業</p> <p>(4) 会員、会員の組合員及び役職員並びにこの会の役職員の組合事業に関する知識の向上を図るために必要な教育を行い、及び情報を提供する事業</p> <p>(5) 会員の組合員のための宅地建物取引業法に基づく宅地建物取引業に関する事業</p> <p>(6) 会員の組合員のための旅行業法に基づく旅行業に関する事業</p> <p>(7) 会員の組合員のための古物営業法に基づく古物営業に関する事業</p> <p>(8) 会員の利用に供する計算、運搬に関する事業</p> <p>(9) 会員の事業の支援、連絡並びに調整に関する事業</p> <p>(10) 前各号の事業に附帯する事業</p>		
設立の理由	協同互助の精神に基づき、全国大学生生活協同組合連合会と提携し大学生生活協同組合の協同事業の中心として事業活動ならびに各種活動を行って会員事業の発展をはかり会員組合員の生活の経済的文化的向上をはかることを目的として設立されました。		
出資金及び総口数	出資金	2,959,180 千円	総口数 295,918 口
神戸大学生協の出資額及び口数	出資金	54,060 千円	総口数 5,406 口
決算月日	2020年2月29日		
出資生協	東京大学消費生活協同組合	187,180 千円	
	早稲田大学生生活協同組合	144,230 千円	
	京都大学生生活協同組合	119,820 千円	
	立命館生活協同組合	119,340 千円	
	慶應義塾生活協同組合	113,710 千円	
	その他 185 大学生生活協同組合	2,274,900 千円	

(注) 出資金及び総口数ならびに出資生協は2020年2月29日現在です。

(2) 事業連合の決算概況

(単位：千円)

資産・負債・純資産の状況		
法人名		生活協同組合連合会大学生協事業連合
科目\決算期		2020年2月29日(53期)
資産の部	流動資産	35,836,863
	固定資産	7,893,145
	資産合計	43,730,008
負債の部	流動負債	37,499,055
	固定負債	3,437,867
	負債合計	40,936,922
純資産の部	出資金	2,959,180
	剰余金	△166,094
	純資産合計	2,793,085
負債及び純資産合計		43,780,814

(注) 上記の損益計算書は、当事業報告書作成時点では、関西北陸事業連合の総会の議決を経ていませんので確定していませんが、事業連合代表理事から示された決算関係書類にもとづいて記載しています。

(3) 事業連合の損益状況 (決算期：2020年2月29日)

(単位：千円)

大学生協生活協同組合関西北陸事業連合	
科目\決算期間	2019年3月1日～2020年2月29日
供給高	116,782,586
供給剰余金	282,119
事業損失金	1,677,912
経常損失金	1,597,621
当期損失金	2,751,217
当期末処理損失金	1,273,609

(4) 事業連合との取引等の状況

(単位：円)

区分	経常収益		経常費用		その他の取引		
	供給高	その他	仕入高	その他	収益	費用	その他
大学生協事業連合	0	969,690	1,758,853,657	126,165,015	0	0	0
対取引高率(%)	0	0	95.82	0	0	0	0

2019年度 事業報告書の附属明細書

2019年3月1日から2020年2月29日まで

作成 2020年4月1日
備付 2020年5月9日

兵庫県神戸市灘区六甲台町
神戸大学生協同組合
理事長 西野 友年

1. 役員報酬等の状況

(1) 役員報酬明細

区分	定款上の定員(人)	支払人数(人)	報酬等支払額	摘要
理事	20~25人	1名	8,460,552円	理事報酬の限度額：1千万円
監事	3~5名	0名	0円	
合計	23~30人	1名	8,460,552円	

2. 役員と他の法人等の業務執行者兼務状況

区分	常勤・非常勤の別	代表権の有無	氏名	兼務先名	兼務先での役職名
理事	常勤	有	坂本 安弘	株式会社コープリビングサービス	取締役
	〃	無	〃	株式会社UCF関西	取締役
	〃	有	〃	神戸親和女子大学生協同組合	専務理事
理事	非常勤	無	木村 祐一	神戸親和女子大学生協同組合	理事
監事	常勤	無	岡川 功	株式会社UCF関西	監事

3. 組合と役員との間の利益が相反する取引の明細 該当する事項はありません。

4. 事業連合に関する事項

事業連合に対する債権・債務明細表

①債権明細表

(単位：円)

区分	短期債権			長期債権		
	期首残高	期末残高	当期増減額	期首残高	期末残高	当期増減額
大学生協事業連合	108,308,791	136,273,449	27,964,658	0	0	0

②債務明細表

(単位：円)

区分	短期債務			長期債務		
	期首残高	期末残高	当期増減額	期首残高	期末残高	当期増減額
大学生協事業連合	272,589,348	198,220,815	△74,368,533	0	0	0

5. その他事業報告書の内容を補足する重要な事項 開示すべき重要な事項はありません。

2019年度 決算関係書類

2019年3月1日から2020年2月29日まで

作成 2020年4月1日
備付 2019年5月9日

兵庫県神戸市灘区六甲台町
神戸大学生生活協同組合
理事長 西野 友年

1. 貸借対照表

貸 借 対 照 表
(2020年2月29日現在)

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流動資産	732,626,157	流動負債	444,594,419
現金預金	287,028,586	買掛金	202,085,061
供給未収金	108,512,604	未払金	10,066,643
商品及び原材料	183,994,323	未払法人税等	1,023,000
前渡金	130,000,000	未払消費税等	22,249,200
立替金	1,513,367	未払費用	11,088,914
前払費用	2,966,465	前受金	115,968,983
未収金	19,803,812	預り金	70,742,074
貸倒引当金(短期)	△1,193,000	賞与引当金	11,370,544
固定資産	141,513,684	固定負債	76,981,500
有形固定資産	45,730,267	退職給付引当金	74,186,260
建物及び附属設備	64,210,755	役員退職給与引当金	2,795,240
建物及設備償却累計額	△58,984,038		
構築物	2,935,180		
構築物減価償却累計額	△2,777,885		
車輜運搬具	16,895,797		
車輜運搬具償却累計額	△16,874,466		
器具備品	216,321,113		
器具備品減価償却累計額	△175,996,189		
無形固定資産	5,818,417		
ソフトウェア	2,831,553		
電話加入権	2,986,864		
その他固定資産	89,965,000		
関係団体出資金	78,115,000		
長期貸付金	7,800,000		
差入保証金	4,050,000		
		負債合計	521,575,919
		(純 資 産 の 部)	
		組合員資本	352,563,922
		出資金	372,455,000
		剰余金	△19,891,078
		法定準備金	11,390,735
		当期末処理損失金	31,281,813
		(うち当期損失金)	(31,281,813)
		純資産合計	352,563,922
資産合計	874,139,841	負債・純資産合計	874,139,841

2. 損益計算書

損 益 計 算 書
(自 2019 年 3 月 1 日 至 2020 年 2 月 29 日)

(単位：円)

科 目	金 額	金 額
供給事業		
供給高	2,603,782,111	
供給値引	20,029,312	2,583,752,799
供給原価		
期首商品棚卸高	238,430,661	
仕入高	1,835,501,470	
合計	2,073,932,131	
期末商品棚卸高	183,994,323	1,889,937,808
供給剰余金		693,814,991
その他事業収入		
共済受託手数料収入	17,733,118	
教育文化事業収入	917,133	
供給事業手数料収入	704,528	
その他手数料収入	103,978,629	
その他事業収入計		123,333,408
事業総剰余金		817,148,399
事業経費		
人件費合計	552,495,568	
物件費合計	315,344,137	867,839,705
事業損失金		50,691,306
事業外収益		
受取利息	8,277	
受取配当金	70,800	
雑収入	24,271,513	24,350,590
事業外費用		
支払利息	0	
雑損失	13,782,218	13,782,218
経常損失金		40,122,934
特別利益		
その他特別利益	9,948,000	9,948,000
特別損失		
固定資産除却損	83,879	83,879
税引前当期損失金		30,258,813
法人税等		1,023,000
当期損失金		31,281,813
当期首繰越剰余金		0
当期未処理損失金		31,281,813

3. 損失処理案

2019 年度損失処理案

(単位：円)

項目	金額
I 当期未処理損失金	31,281,813
II 損失金処理額	
法定準備金取崩額	11,390,735
III 次期繰越損失金	19,891,078

注 記

4. 個別注記表

1. この決算関係書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成されています。

2. 重要な会計方針にかかる事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法は以下のとおりです。

棚卸資産の評価基準及び評価方法

【商品】	書籍・購買	売価還元法による原価法
	食堂（食材）	最終仕入原価法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法は以下のとおりです。

①有形固定資産	定率法	主な 耐用年数	建物	7年～50年
1998年4月1日以後に取得した建物及び2016年4月1日以後に取得した建物附属設備・構築物については定額法			建物附属設備	3年～18年
			構築物	5年～14年
			器具備品	2年～20年
			車両運搬具	2年～7年
②無形固定資産	定額法	ソフトウェアは利用期間(5年)に基づく定額法		

(3) 引当金の計上基準は下記の通りです。

①貸倒引当金	債権の貸倒により損失に備えるため、一般債権は法人税法に定める一括評価金銭債権に係る繰入率による繰入限度相当額、及び貸倒懸念債権については、回収可能性を検討して回収不能見込額を計上しています
②賞与引当金	職員の賞与の支給に備えるため、支給見込み額の当期負担額を計上しています。
③退職給付引当金	退職給付会計に関する注記に記載しています。
④役員退職給与引当金	役員の退職金の支給に備えるため、役員退職金規定による期末要支給額相当額を計上しています。

(4) その他決算関係書類の作成のための基本となる重要な事項は以下のとおりです。

消費税の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式を採用しています。

3. 損益計算書に関する注記

(1) 事業外損益の主な内訳は以下のとおりです。

①事業外収入

(単位：円)

受 取 利 息		8,277	預金利息
受 取 配 当 金		70,800	出資配当金
雑 収 入	キャッシュレス還元補助	12,723,825	
	トレイ広告実施収入	3,160,935	
	19年正規新規採用教育プログラム援助	2,200,000	
	DM送付取引先協力金	1,529,956	
	連合前渡手数料	969,690	
	ミールカード利用差額	957,881	
	各種保険事務手数料	800,309	
	学生生活110番払込書作成費用戻し	519,911	
	段ボール等回収手数料	436,890	
	レジ袋協賛	224,400	
	共済加入者申込書作成費用連合補助	86,400	
	貸倒引当金戻入益	53,000	
	買掛金整理益	31,419	
	伝票等売却益	19,856	
	法人税還付金	15,704	
	その他	541,337	

②事業外費用

(単位：円)

雑 損 失	キャッシュレス還元ポイント	12,723,825	
	出資金整理後返還金	742,500	
	商品廃棄ロス	98,484	
	予算外廃材処理費用	19,320	
	消費税精算違算	16,747	
	その他	181,342	

(2) 特別損益の主な内訳は以下のとおりです。

(単位：円)

特 別 利 益	組合員出資金戻入益	9,948,000	
特 別 損 失	固定資産除却損	83,879	

(3) 法人税等には、法人税、住民税が含まれています。

4. 退職給付会計に関する注記

(1) 退職給付債務の計上

職員の退職により支給する退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務(簡便法による期末自己都合退職要支給額を採用)及び年金資産の見込額をもとに計算した金額を退職給付引当金として計上しています。

(2) 採用する退職給付制度

正規職員の退職により支給する退職給付にあてるため、退職一時金制度、企業年金基金制度を採用し、定時職員は退職一時金制度のみを採用しています。

(3) 簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

退職給付引当金の期首残高	86,738,912	円
退職給付費用	7,323,298	円
退職給付の支払額	△4,842,500	円
年金制度への拠出額	△3,164,000	円
他生協への移籍支払額	△13,102,900	円
他生協からの移籍受入額	1,233,450	円
退職給付引当金の期末残高	74,186,260	円

(4) 退職給付債務及び年金資産と退職給付引当金の調整表

積立型制度の退職給付債務	123,313,235	円
年金資産	△49,126,975	円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	74,186,260	円
退職給付引当金	74,186,260	円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	74,186,260	円

(5) 退職給付に関連する損益

簡便法で計算した退職給付費用	7,323,298	円
----------------	-----------	---

(6) 企業年金制度について

このほかに、職員については日生協企業年金基金に加入していますが、複数の事業主による総合設立型基金のため退職給付債務等は計上していません。

尚、複数事業主制度に関する事項は以下の通りです。

①制度全体の積立状況に関する事項

年金時価資産額	42,502,395,024 円	(2020年2月末日)
数理債務	33,726,183,000 円	(2019年3月末日)
差引額	8,776,212,024 円	

②制度全体に占める当生協の掛金拠出割合 (2018年2月分) 0.10770%

③補足説明

数理債務は2019年3月末日時点、年金時価資産額は上記基準日時点の金額を使用しており期間に差が生じています。基準日時点における数理債務は当該期間分増加するものと予想され、それを追加すると差引額は減少します。

なお、2019年3月末時点の繰越剰余金は、7,691,491,586円となっており、過去勤務債務残高はありません。

5. 関連当事者との取引に関する注記

(単位：円)

種類	法人等の名称	資本金または出資金	議決権割合	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
関連法人	大学生協事業連合	2,959,180,000	直接 0.52%	商品仕入	1,758,853,657	前渡金	130,000,000
				業務委託	55,131,960	買掛金	197,051,847
						未払金	1,168,217
						未収金	6,273,449

2019年度 決算関係書類の附属明細書

1. 組合員資本の明細

(単位：円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
出資金	362,017,000	64,481,000	54,043,000	372,455,000	
法定準備金	24,360,000	0	12,969,265	11,390,735	
任意積立金 次期POS導入積立金	15,026,898	0	15,026,898	0	目的使用
当期末処分剰余金	△27,996,163	27,996,163	31,281,813	△31,281,813	
合 計	373,407,735	92,477,163	113,320,976	352,563,922	

2. 有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位：円)

資産の種類	期首 帳簿価額	当期 増加額	当期 減少額	当期 償却額	期末 帳簿価額	減価償却 累計額	期末 取得原価
建物	1,344,095	0	0	200,936	1,143,159	14,609,286	15,752,445
建物付属設備	5,211,602	0	3	1,128,041	4,083,558	44,374,752	48,458,310
構築物	178,755	0	0	21,460	157,295	2,777,885	2,935,180
車両運搬具	21,332	0	1	0	21,331	16,874,466	16,895,797
器具備品	41,687,448	15,102,933	83,875	16,381,582	40,324,924	175,996,189	216,321,113
有形固定資産計	48,443,232	15,102,933	83,879	17,732,019	45,730,267	254,632,578	300,362,845
	期首 帳簿価額	当期 増加額	当期 減少額	当期 償却額	期末 帳簿価額	減価償却 累計額	期末 取得原価
ソフトウェア	4,270,773	0	0	1,439,220	2,831,553	/	
電話加入権	2,986,864	0	0	0	2,986,864		
無形固定資産計	7,257,637	0	0	1,439,220	5,818,417		
合 計	55,700,869	15,102,933	83,879	19,171,239	51,548,684		

3. 関係団体出資金の明細

(単位：円)

出 資 先	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
大学生協事業連合	54,060,000	0	0	54,060,000
全国大学生協同組合連合会	15,840,000	0	0	15,840,000
兵庫県生活協同組合連合会	100,000	0	0	100,000
兵庫県の留学生を支える協同基金	1,700,000	0	0	1,700,000
株式会社HATA	15,000	0	0	15,000
大学生協共済連合会	5,900,000	0	0	5,900,000
UCF関西	500,000	0	0	500,000
合 計	78,115,000	0	0	78,115,000

4. 引当金の明細

(単位：円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
貸倒引当金(短期)	1,246,000	0	53,000	1,193,000	
賞与引当金	11,264,557	11,370,544	11,264,557	11,370,544	目的使用
役員退職給与引当金	2,065,240	768,000	38,000	2,795,240	
合 計	101,314,709	18,051,994	29,821,659	89,545,044	

5. 事業経費の明細

(単位：円)

科 目	金 額
1. 人件費	
役員報酬	8,460,552
職員給与	131,471,478
定時職員給与	339,111,904
退職給付費用	7,285,298
法定福利費	44,755,426
厚生費	6,804,053
役員退職給与引当金繰入	768,000
賞与引当金繰入	11,370,544
派遣人件費	2,468,313
人件費合計	552,495,568
2. 物件費	
教育文化費	2,980,368
広報費	15,159,743
消耗品費	51,092,252
車両運搬費	7,642,234
施設維持管理費	24,314,376
減価償却費	19,171,239
賃借料	7,299,620
水道光熱費	44,183,322
保険料	1,411,985
委託料	39,802,367
研修採用費	3,264,632
調査研究費	576,602
会議費	1,761,932
諸会費	8,613,101
渉外費	554,341
租税公課	819,823
通信交通費	12,369,323
雑費	19,220,877
事業連合委託費	55,106,000
物件費合計	315,344,137
事業経費合計	867,839,705

事業連合委託費用の負担基準は、前年度供給総剰余実績をもとに阪神事業連合会員生協で按分。

6. 事業の種類ごとの損益の明細及び事業別事業経費明細

事業は供給・利用事業のみのため、事業の種類ごとの損益の明細及び事業別事業経費明細は、損益計算書及び事業経費の明細と同じです。

7. キャッシュ・フロー計算書

間接法

自 2019 年 3 月 1 日 至 2020 年 2 月 29 日

(単位：円)

I. 事業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期剰余金		△ 30,258,813
減価償却費		19,171,239
貸倒引当金の減少額		△ 53,000
賞与引当金の増加額		105,987
退職給付引当金の減少額		△ 12,552,652
役員退職給与引当金の増加額		730,000
受取利息及び受取配当金		△ 79,077
固定資産除却損		83,879
供給債権の減少額		4,811,588
棚卸資産の減少額		54,436,338
仕入債務の減少額		△ 77,777,106
未払消費税等の増加額		12,381,800
(事業活動) その他		△ 26,803,038
小 計		△ 55,802,855
利息及び配当金の受領額		79,077
法人税等の支払額		△ 1,023,000
事業活動によるキャッシュ・フロー		△ 56,746,778
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入		30,000,000
固定資産の取得による支出		△ 15,102,933
貸付による支出		△ 2,400,000
投資活動によるキャッシュ・フロー		12,497,067
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
組合員出資金の増加額		10,438,000
財務活動によるキャッシュ・フロー		10,438,000
IV. 現金及び現金同等物の増加額		△ 33,811,711
V. 現金及び現金同等物の期首残高		280,840,297
VI. 現金及び現金同等物の期末残高		247,028,586

(注) 現金及び現金同等物の範囲

(単位：円)

項目	期首	期末
現金及び預金	350,840,297	287,028,586
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△70,000,000	△40,000,000
現金及び現金同等物	280,840,297	247,028,586

8. 主要な事業に関わる資産及び負債の内容その他の決済関係書類の内容を補足する重要な事項

(1) 主な資産の内容

①現金預金の明細

(単位：円)

科目	内 訳	期首残高	期末残高	当期増減額
現金預金	現金	18,708,658	19,593,699	885,041
	当座預金	106,360,912	90,424,922	△15,935,990
	普通預金	155,770,727	137,009,965	△18,760,762
	定期預金	70,000,000	40,000,000	△30,000,000
合 計		350,840,297	287,028,586	△63,811,711

②供給未収金の明細

イ. 内訳

(単位：円)

内 訳	期末残高
神戸大学（校費物品等利用）	69,703,132
神戸大学（校費書籍利用）	9,135,697
組合員（連合受付合宿教習所）	3,502,440
組合員（私費物品等利用）	388,900
組合員（私費書籍利用）	457,341
組合員（大学生協ローン）	242,000
Tuo カード未収金	17,270,770
一般クレジットカード未収金	7,812,324
合 計	108,512,604

ロ. 回収状況

(単位：円)

期首残高	当期発生高	当期回収高	当月残高	回収率
113,324,192	1,310,442,916	1,315,254,504	108,512,604	92.38%

③商品の明細

(単位：円)

科目	内 訳	金 額
商 品	一般商品（物品）	82,262,646
	書 籍	88,230,217
	食 材	4,402,517
	サービス	9,098,943
合 計		183,994,323

④貸付金の明細

(単位：円)

科目	貸付先	期首残高	期末残高	当期増減額
長期貸付金	職員1名	5,400,000	7,800,000	2,400,000

⑤前渡金の明細

(単位：円)

内 訳	金 額
事業連合・商品代金前払い	130,000,000
合 計	130,000,000

⑥立替金の明細

(単位：円)

内 訳	金 額
留学費用	1,285,190
神戸大学	161,947
その他	66,230
合 計	1,513,367

⑦前払費用の明細

(単位：円)

内 訳	金 額
新学期費用	2,293,135
学生委員会	518,230
就職支援関係	110,000
兵協連	38,500
その他	6,600
合 計	2,966,465

⑧未収金の明細

(単位：円)

内 訳	金 額
キャッシュレス還元補填	9,591,960
大学生協事業連合	6,273,449
神戸大学	1,505,037
年度末未収金計上（自販機・共済）	896,000
出向職員費用（親和女子大学生協）	533,707
ICプリペイド入金	280,000
青山商事（DM発送費用）	245,700
就職支援関係	221,100
生協利用券	105,858
大学生協連	41,608
その他	109,393
合 計	19,803,812

⑨差入保証金の明細

(単位：円)

差 入 先	金 額
全国旅行業協会 弁済業務保証金	600,000
全国宅建業保証協会 弁済業務保証金	900,000
日本交通公社 トリップス端末	500,000
同 日本航空委託保証金	1,000,000
同 全日空再委託保証金	1,000,000
日本図書普及株式会社 図書券	20,000
同 図書カード端末機	30,000
合 計	4,050,000

(2) 主な負債の内容

①買掛金の明細

(単位：円)

内 訳	金 額
大学生協事業連合	197,051,847
東海興商株式会社	489,946
ケーオー商会	416,647
トラストマーケティング	120,054
神戸風月堂	109,175
その他	3,897,392
合 計	202,085,061

②未払金の明細

(単位：円)

内 訳	金 額
神戸大学	4,038,747
大学生協事業連合	1,168,217
大阪ガス	990,141
灘郵便局	974,980
コニカミノルタ	557,434
日生協第2年金基金	258,480
エイジス	247,166
ソフトバンクテレコム	244,581
近畿クリーンエイド	231,550
アセットインベントリー	165,000
出資金カタログ返還未請求	164,000
エクソンモービル	112,926
SECOM	103,400
その他	810,021
合 計	10,066,643

③未払法人税等の明細

(単位：円)

内 訳	金 額
県民税	143,000
市民税	880,000
合 計	1,023,000

④未払消費税の明細

(単位：円)

内 訳	金 額
消費税	22,249,200
合 計	22,249,200

⑤未払費用の明細

(単位：円)

内 訳	金 額
職員給与未払費用	10,840,795
その他	248,119
合 計	11,088,914

⑥前受金の明細

(単位：円)

内 訳	金 額
組合員（旅行代金等）	76,014,720
ICプリペイド前受額	24,318,003
新入生・生協ICカード申込	7,896,000
組合員（就職支援関係）	3,120,000
新入生・PC購入	2,308,460
ミールカード新規	2,285,000
新学期冊子協賛	15,000
コーヒーチケット	11,800
合 計	115,968,983

⑦預り金の明細

(単位：円)

内 訳	金 額
未返還組合員出資金	47,950,000
新入生出資金等	12,830,090
組合員（アルバム申込金）	6,336,600
組合員（公務員講座関連）	1,008,240
組合員（下宿敷金家賃等）	930,000
組合員（学生110番）	279,620
未受取ICプリペイド	85,000
留学生家賃保証	24,000
SPI	3,300
出先店預り保険料	500
給与控除預り金	1,294,724
合 計	70,742,074

(3) 比較貸借対照表及び比較損益計算書

① 比較貸借対照表

(単位：円)

資産の部	2018年度	2019年度	負債・資本の部	2018年度	2019年度
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	820,602,267	732,626,157	流動負債	501,656,249	444,594,419
現金	18,708,658	19,593,699	買掛金	279,862,167	202,085,061
当座預金	106,360,912	90,424,922	未払金	12,058,296	10,066,643
普通預金	155,770,727	137,009,965	未払法人税等	1,023,000	1,023,000
定期預金	70,000,000	40,000,000	未払消費税等	9,867,400	22,249,200
供給未収金	84,815,737	91,241,834	未払費用	22,494,120	11,088,914
クレジット等未収金	28,508,455	17,270,770	前受金	96,276,901	115,968,983
商品及び原材料	238,430,661	183,994,323	預り金	68,809,808	70,742,074
前渡金	100,000,000	130,000,000	賞与引当金	11,264,557	11,370,544
立替金	697,863	1,513,367			
前払費用	4,883,515	2,966,465	固定負債	88,804,152	76,981,500
未収金	13,671,739	19,803,812	退職給付引当金	86,738,912	74,186,260
貸倒引当金(短期)	△1,246,000	△1,193,000	役員退職給与引当金	2,065,240	2,795,240
固定資産	143,265,869	141,513,684			
有形固定資産	48,443,232	45,730,267			
建物及び附属設備	66,700,653	64,210,755	負債合計	590,460,401	521,575,919
建物及設備償却累計額	△60,144,956	△58,984,038	(純資産の部)		
構築物	2,935,180	2,935,180	組合員資本	373,407,735	352,563,922
構築物減価償却累計額	△2,756,425	△2,777,885	出資金	362,017,000	372,455,000
車両運搬具	17,745,797	16,895,797	剰余金	11,390,735	△19,891,078
車両運搬具償却累計額	△17,724,465	△16,874,466	法定準備金	24,360,000	11,390,735
器具備品	207,348,533	216,321,113	任意積立金	15,026,898	0
器具備品減価償却累計額	△165,661,085	△175,996,189	当期末処分剰余金	△27,996,163	△31,281,813
無形固定資産	7,257,637	5,818,417	(うち当期剰余金)	(△43,259,428)	(△31,281,813)
ソフトウェア	4,270,773	2,831,553			
電話加入権	2,986,864	2,986,864	純資産合計	373,407,735	352,563,922
その他固定資産	87,565,000	89,965,000			
関係団体出資金	78,115,000	78,115,000	負債・純資産合計	963,868,136	874,139,841
長期貸付金	5,400,000	7,800,000			
差入保証金	4,050,000	4,050,000			
資産合計	963,868,136	874,139,841			

② 比較損益計算書

(単位：円)

勘定科目	2018年実績	2019年予算	2019年実績	対前年増減	対予算増減
供給高	2,449,286,896	2,613,012,000	2,603,782,111	154,495,215	△9,229,889
供給値引	23,036,186	30,291,000	20,029,312	△3,006,874	△10,261,688
純供給高	2,426,250,710	2,582,721,000	2,583,752,799	157,502,089	1,031,799
期首商品棚卸高	228,708,716	0	238,430,661	9,721,945	238,430,661
仕入高	1,762,118,238	0	1,835,501,470	73,383,232	1,835,501,470
期末商品棚卸高	238,430,661	0	183,994,323	△54,436,338	183,994,323
供給剰余金	673,854,417	700,131,000	693,814,991	19,960,574	△6,316,009
利用事業収入					
共済受託手数料収入	17,432,046	17,600,000	17,733,118	301,072	133,118
教育文化事業収入	966,214	930,000	917,133	△49,081	△12,867
供給事業手数料収入	936,387	1,158,000	704,528	△231,859	△453,472
その他手数料収入	103,383,889	128,525,000	103,978,629	594,740	△24,546,371
その他事業収入計	122,718,536	148,213,000	123,333,408	614,872	△24,879,592
事業総剰余金	796,572,953	848,344,000	817,148,399	20,575,446	△31,195,601
役員報酬	8,666,870	9,368,000	8,460,552	△206,318	△907,448
職員給与	130,492,433	135,378,000	131,471,478	979,045	△3,906,522
定時職員給与	337,118,535	338,006,000	339,111,904	1,993,369	1,105,904
退職給付費用	11,768,712	4,440,000	7,285,298	△4,483,414	2,845,298
法定福利費	41,833,269	43,464,000	44,755,426	2,922,157	1,291,426
厚生費	5,613,018	5,869,000	6,804,053	1,191,035	935,053
役員退職給与引当金繰入	480,000	570,000	768,000	288,000	198,000
賞与引当金繰入	11,264,557	9,300,000	11,370,544	105,987	2,070,544
派遣人件費	2,633,488	4,802,000	2,468,313	△165,175	△2,333,687
人件費合計	549,870,882	551,197,000	552,495,568	2,624,686	1,298,568
教育文化費	3,192,637	3,287,000	2,980,368	△212,269	△306,632
広報費	11,276,374	17,850,000	15,159,743	3,883,369	△2,690,257
消耗品費	55,094,132	48,291,000	51,092,252	△4,001,880	2,801,252
物流費	2,170,998	70,000	0	△2,170,998	△70,000
車両運搬費	8,727,082	7,715,000	7,642,234	△1,084,848	△72,766
施設維持管理費	24,136,438	23,763,000	24,314,376	177,938	551,376
減価償却費	18,476,507	18,442,000	19,171,239	694,732	729,239
賃借料	6,176,081	5,099,000	7,299,620	1,123,539	2,200,620
水道光熱費	45,417,054	47,341,000	44,183,322	△1,233,732	△3,157,678
保険料	1,441,370	1,456,000	1,411,985	△29,385	△44,015
委託料	34,612,353	33,725,000	39,802,367	5,190,014	6,077,367
研修採用費	3,355,667	3,539,000	3,264,632	△91,035	△274,368
調査研究費	1,098,866	1,098,000	576,602	△522,264	△521,398
会議費	1,562,695	1,583,000	1,761,932	199,237	178,932
諸会費	8,555,841	8,562,000	8,613,101	57,260	51,101
渉外費	552,098	518,000	554,341	2,243	36,341
租税公課	1,046,804	1,114,000	819,823	△226,981	△294,177
通信交通費	12,148,987	12,090,000	12,369,323	220,336	279,323
雑費	20,274,235	20,911,000	19,220,877	△1,053,358	△1,690,123
事業連合委託費	52,630,121	56,234,000	55,106,000	2,475,879	△1,128,000
物件費合計	311,946,340	312,688,000	315,344,137	3,397,797	2,656,137
事業経費合計	861,817,222	863,885,000	867,839,705	6,022,483	3,954,705
事業剰余金	△65,244,269	△15,541,000	△50,691,306	14,552,963	△35,150,306
事業外収益	10,349,589	15,891,000	24,350,590	14,001,001	8,459,590
事業外費用	1,696,075	0	13,782,218	12,086,143	13,782,218
経常剰余金	△56,590,755	350,000	△40,122,934	16,467,821	△40,472,934
特別利益	15,265,000	0	9,948,000	△5,317,000	9,948,000
特別損失	910,673	0	83,879	△826,794	83,879
税引前当期剰余金	△42,236,428	350,000	△30,258,813	11,977,615	△30,608,813
法人税等	1,023,000	0	1,023,000	0	1,023,000
当期剰余金	△43,259,428	350,000	△31,281,813	11,977,615	△31,631,813
当期首繰越剰余金	△16,109,837	0	0	16,109,837	0
目的積立金取崩額	31,373,102	0	0	△31,373,102	0
当期未処分剰余金	△27,996,163	350,000	△31,281,813	△3,285,650	△31,631,813

参考資料

沿革

年 月	内 容
昭和 32 年	6 月 設立総会
	7 月 県知事認可
	12 月 設立登記
33 年	5 月 姫路支部発足
34 年	9 月 六甲支部焼失
	10 月 書籍部御影に開設
35 年	12 月 六甲支部再建
37 年	11 月 工学支部発足
38 年	4 月 教養部鶴甲に移転
39 年	9 月 教養部本食堂完成文理学部食堂完成
	学舎統合により御影支部廃止
	学舎統合により姫路支部廃止
	10 月 学生会館に書籍部統合移転
41 年	9 月 農学部支部開設
42 年	10 月 医学部支部開設
44 年	12 月 工学部にカフェテリア食堂開設
48 年	4 月 医学部食堂改装
51 年	9 月 六甲支部二階化（一階食堂、二階喫茶・購買書籍）
52 年	2 月 農学部食堂拡張
54 年	3 月 文理学部食堂廃止
	8 月 教養部食堂拡張
55 年	4 月 教育学部購買部拡張
57 年	10 月 工学部喫茶（エコール）開設
	2 月 兵庫県知事登録国内旅行業登録
59 年	3 月 運輸大臣登録一般旅行業代理店登録
	4 月 医療技術短期大学部施設開設
60 年	1 月 医学部書籍・購買部が国内旅行業営業所として登録
	4 月 LANS BOX（文・理・農・自然科学研究科施設）開設
61 年	4 月 CAFELIA（教養部喫茶）改装
	5 月 宅地建物取引業登録
	8 月 自動車運送取扱業登録
62 年	1 月 員外利用許可（神戸大学の校費）
63 年	8 月 MEDICO ATRIUM（医学部施設）開設
平成 2 年	10 月 LOFT 学生会館書籍部に移転
3 年	10 月 滝川記念学会館食堂（教職員用施設）運営受託
5 年	1 月 両替業務の開始認可（平成 10 年 4 月法改訂に伴い廃止）
6 年	8 月 員外利用許可（神戸大学の来訪者）
	9 月 国際文化学部食堂リニューアル
7 年	1 月 阪神・淡路大震災で被災
8 年	4 月 旅行業法の改定に伴い、運輸大臣登録一般旅行業代理店登録を廃業し、旅行業第 3 種登録（海外旅行・国内旅行の手配）
9 年	9 月 国際文化学部購買リニューアル及び LOFT の移転
10 年	4 月 三木記念会館食堂（教職員用施設）運営受託
11 年	6 月 宅地建物取引業で医学部店を支店として登録
12 年	5 月 工学部喫茶室（エコール）屋外テラス拡張（48 席）
	6 月 定款変更の兵庫県知事認可（名称変更、出資一口金額の変更等）
	7 月 神戸大学生協同組合に名称変更
	学生会館食堂廃止、隣接する書籍部拡張（約 80 坪）
13 年	8 月 工学部購買店拡張（約 3 坪）
14 年	11 月 六甲台食堂・喫茶・書籍購買店、新施設移設準備に伴い閉店 仮店舗営業
15 年	1 月 六甲台新施設（アカデミア館）食堂・レストラン・ショップ営業開始

	10月	神戸大学と神戸商船大学の統合に伴い、海事科学部食堂・ショップ営業開始
16年	4月	国立大学法人神戸大学と協定書・業務委託契約書を締結し、神戸大学における福利厚生事業全般を受託
	8月	国際文化学部店、カフェリア、パンショップ改装
17年	8月	工学部店リニューアル
	9月	LANS BOX 店リニューアル
18年	2月	工学部食堂リニューアル
	9月	LANS BOX 店リニューアル 酒類販売業登録
19年	2月	工学部喫茶エコー閉店
	3月	発達科学部店移設・発達科学部食堂ホール改装
	8月	国際文化学部店改装
	12月	国際文化学部食堂・発達科学部食堂厨房改装に伴い閉店 学生会館店全面改装 サービスセンター改装に伴い移転
20年	3月	国際文化学部店舗内ゆうちょ銀行ATM稼働開始
	4月	国際文化学部食堂・サービスセンター・発達科学部食堂営業開始
	8月	国際文化学部店改装
	12月	国際文化学部食堂・カフェリア、パンショップ・発達科学部食堂・学生会館店改装
21年	4月	総務部（組合員サポートデスク）改装
	8月	BELBOX ショップ店舗内ゆうちょ銀行ATM稼働開始
22年	3月	基幹システム・店舗システム変更（大学生協システム）
	8月	医学部店改装
	12月	保健学科店改装
23年	2月	LANSBOX 店改装
	6月	大学生協共済連加入
	8月	大学生協神戸事業連合と大学生協大阪事業連合が併合し、大学生協阪神事業連合となる
	10月	全店舗にて煙草の取扱いを中止
24年	3月	日本生活協同組合連合会脱退
	4月	神戸大学附属図書館学内書籍等運搬業務請負
	6月	平成24年度神戸大学英語外部試験（TOEIC-IP・TOEFL-ITP）実施請負
	9月	LANSBOX 店改装
	12月	瀧川記念会館喫茶コーナー業務委託 パートタイマー・エルダースタッフ就業規則改定
25年	1月	神戸大学職員対象英語外部試験（TOEIC-IP）実施請負
	3月	平成25年度神戸大学英語外部試験（TOEIC-IP・TOEFL-ITP）実施請負
	7月	Microsoft ソフトウェアライセンスメディアインストールキット販売開始
	9月	総務部改装
	10月	神戸大学職員対象英語外部試験（TOEIC-IP）実施請負
26年	2月	神戸大学附属図書館学内書籍等運搬業務請負
	3月	平成26年度神戸大学英語外部試験（TOEIC-IP・TOEFL-ITP）実施請負
	8月	工学部食堂・ショップ耐震工事に伴い一時閉店 神戸大学職員対象英語外部試験（TOEIC-IP）実施請負
	10月	臨時総代会 神戸大学附属中学校店開設承認
27年	1月	工学部食堂・ショップ営業再開
	3月	平成27年度神戸大学英語外部試験（TOEIC-IP・TOEFL-ITP）実施請負
	4月	附属中等教育学校店営業開始
	8月	全学ソフトウェアライセンスサポート業務請負
	10月	入学試験合格者書類発送委託契約締結（生協資料同封発送）
	11月	学生総合共済全店舗受付業務開始
28年	2月	神戸大学附属図書館学内書籍等運搬業務請負
	3月	カフェリア・パンショップ業態変更に伴う改装 平成28年度神戸大学英語外部試験（TOEIC-IP・TOEFL-ITP）実施請負
	9月	LANSBOX 食堂厨房内ケータリング調理エリア設置 大学生協関西北陸事業連合設立（阪神・京都・北陸の3事業連合合併）
	10月	LANSBOX 食堂2階留学生食事対応開始（食堂名：LANS Vege Dining） 国際文化学部食堂新レーン増設（Wレーン化）

29年	2月	神戸大学附属図書館学内書籍等運搬業務請負 自動販売機設置及び管理に関する入札参加
	3月	自動販売機設置及び管理に関する業務受託 平成29年度神戸大学英語外部試験（TOEIC-IP・TOEFL-ITP）実施請負
	7月	学内可燃ゴミ回収業務受託
	9月	正規職員就労条件を関西北陸事業連合同一化に伴う就業規則変更
	30年	2月
3月		平成30年度神戸大学英語外部試験（TOEIC L&R IP・TOEFL-ITP）実施請負 英語外部試験受験料一部支援制度申請受付業務 神戸大学PC必携化ワーキングオブザバー参加（3月までの全10回に参加）
6月		役員報酬規則・役員の報酬及び退任慰労金支給基準に関する細則を関西北陸事業連合同一化 アカデミア館2階（BELBOX ショップ [®] 内）ゆうちょ銀行ATM撤去
8月		大学生協事業連合設立（北海道・東北・東京・東海・関西北陸・九州の6事業連合合併）
11月		学食定期募集開始
31年	2月	バイク取扱（販売・修理等）終了
	3月	平成30年度神戸大学英語外部試験（TOEIC L&R IP・TOEFL-ITP）実施請負
	4月	自賠責保険取扱終了
	9月	神戸親和女子大学生協との「相互協力に関する協定書」を締結
令和元年	10月	「キャッシュレス・消費者還元事業主」認可 正規職員定年後再雇用新制度の導入
	3月	レジ袋有料化

第1号議案－4 2019年度損失処理案

2019年度は 31,281,813 円の損失金です。

この損失金 31,281,813 円は、当期末処理損失金として損失処理を以下の通り提案致します。

当期末処理損失金	31,281,813 円
法定準備金取崩	11,390,735 円
次期繰越損失金	19,891,078 円

尚、取崩後、法定準備金は 0 円となります。

2020年5月21日

神戸大学生生活協同組合

西野 友年	湯淺 英男	向井 洋一	加藤 佳子	朴 鐘祐
横川 博一	笹 健児	石丸 幸勢	渡邊 優衣	吉田 朋高
片岡 亮太	高木 大輝	川寄 隆生	菊池 奈々子	東 朋樹
山本 直輝	栗 大輝	横澤 瑠晟	山本 七颯	若宮 聖真
金澤 海渡	木村 祐一	岡川 功	坂本 安弘	

監査報告書

私たち監事は、2019年3月1日から2020年2月29日までの2019年度の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、他の監事と意思疎通及び情報の交換を図るほか、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本部において業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告書及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る決算関係書類(貸借対照表、損益計算書、損失金処理案)及びその附属明細書について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告書等の監査結果

一、事業報告書及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、組合の状況を正しく示しているものと認めます。

二、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 決算関係書類及びその附属明細書の監査結果

決算関係書類及びその附属明細書は、組合の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。


(3) 損失金処理案監査結果

損失金処理案は法令及び定款に適合し、かつ、組合財産の状況その他の事情に照らして指摘すべき事項はありません。

2020年4月27日

神戸大学生生活協同組合

監事 大谷 恭弘 

監事 長谷川 浩樹 

監事 吉元 えりか 

第2号議案 2020年度事業計画および予算決定の件

※第2号議案は2020年度に行う活動や改善、事業計画を報告します。

第2号議案－1 2020年度活動計画

2019年度は入試前日の活動許可、パソコン必携化、学食定期の募集開始と新たな展開を迎える年度でした。また、生協ICカードも2年目となり、成果を求められる年度となりました。このような環境のなか、大輪の花が咲いた事業もあれば、2020年度に向けてブラッシュアップがさらなる必要な事業、種蒔きが出来た事業がありました。2020年度は、大輪の花は多年草に、ブラッシュアップが必要な事業はしっかり分析を進め改善に向けて判断をお願いします。種蒔きを終えた事業は、根をしっかりと張り、そして大輪の花が咲くように日々の努力を怠らないようにしなければなりません。これまでの事業計画(方針)は以下の通りです。

- 2016年度 「生協の魅力を伝える！」「やっぱり生協だね！」
- 2017年度 「キャンパススパイラルの向上」
- 2018年度 「見える化」「キャンパススパイラルの向上」
- 2019年度 「+1を目指す」

2016年度は「生協の魅力を伝える！」「やっぱり生協だね！」と提言していますが、我々生協職員がまだまだそのレベルに達していないと痛感し、【神戸大学生協職員行動指針】(以下、行動指針)を策定しました。まず、職員の行動(思考)から変化しなければ、「魅力」や「やっぱり」と言った言葉を組合員の皆様から頂くには、ほど遠いと考えました。また、7キャンパス23店舗と広域なため、職員同士のつながりも少なくなりがちです。生協の全職員が、同じ方向を目指す指針も必要と考えました。一方では、各店舗のコンセプト作りも開始しました。

2017年度は、この行動指針をもって、各職員が大学内におけるコミュニティーの一員であることを自覚し、店舗(事業)活動に組合員を巻き込み、共に良いキャンパスライフを過ごせるように協力し合うことを提言しました。

2018年度は、さらに生協の事業や活動を理解して頂くことを目的とした「見える化」を提言しました。生協が行っている、キャンパス内でのさまざまな取り組みを知って頂き、キャンパス内での生協の存在意義をあらためて認識して頂きたいとの思いからです。

この3年間で、職員から「コミュニケーション」と言うフレーズを聞く機会が多くなりました。当初は「浸透しないのでは・・・」「専務の自己満足では・・・」と懸念していました行動指針が多くの職員に理解して頂き、少しずつではありますが、意識改革が起こっていると感じています。

このことから、次のステージに上がるタイミングと判断し、2019年度は「+1を目指す」を提言しました。

「+1」を目指すには、【神戸大学生協職員行動指針】の理解をより深めなければ実現しません。

年度	事業計画(方針) 組合員へのアクション	生協職員へのアクション	各店舗へのアクション
2020年度	組合員を「支え」「応えられる」生協に		
2019年度	+1を目指す	神戸大学生協 職員行動指針	創意工夫
2018年度	見える化 キャンパススパイラルの向上		コンセプト作り
2017年度	キャンパススパイラルの向上		
2016年度	生協の魅力を伝える！ やっぱり生協だね！		

2016年度からの4年間の事業計画(方針)により、「神戸大学生協はどうあるべきなのか?」「組合員貢献とは?」がイメージし易くなったと考えます。

2020年度はさらなるステージに進むために、「支える」と「応えられる」が実践できる(実感して頂ける)生協を目指し、事業計画(方針)を『組合員を「支え」「応えられる」生協に』とします。各職員、そして各店舗が、キャンパスコミュニティーの一員として、「組合員と共に歩める」を念頭に活動・事業を行い、「次に繋がる」ように努力します。



【1】新入生支援活動の再構築

2019年度に新入生支援活動のホームページのリニューアルや会議の開催方法を大きく変更しました。これを再構築の第1歩と考えます。2020年度はこれまでの独立した専門担当者方式から、担当者間で連携し、それぞれが補い合う方式に移行を進めます。冊子のリニューアル、業務分割に際しての担当者変更、そして情報共有と積極的な意見交換ができるように環境を整えます。また、学生委員会も先輩神戸大学生として、新入生支援活動を行います。

生協加入はこれまでの加入率の維持、学生総合共済は80%、生協ICカードは申込率80%を目指します。学習用パソコンの販売台数は新入生50%を目標とし、サポートパックと講習会の付帯率(申込率)のアップを目指します。また、住まいの紹介事業は2019年度実績+7%を目指します。それ以外にも、電子辞書・プリンタの販売台数の増加を目指します。

【2】学食定期の運用開始

2019年度は申込率8.4%と低い結果となりました。2020年度は、生協食堂を利用する利点や食事の大切さを冊子に落とし込み、学食定期への理解を深めることで申込率25%を目指します。

【3】営業時間の変更

2019年度は各店舗の利用状況を分析し、適宜営業時間を変更しました。2020年度はクォーター制開始5年目となることから、全学年での利用データが揃っております。このデータ分析をさらに進め、営業日程・営業時間の最適化を図ります。組合員の利便性を損なう可能性があります。安定した活動が継続できることを優先せざるを得ない環境への理解を図ります。

【4】店舗改装の検討

大きな改装は難しいですが、適宜必要に応じてレイアウト変更等を実施します。なお、混雑緩和を目的としたレイアウト変更(導線確保)は最重要事項であるため、優先的に行います。

また、保健学研究科A棟と海事科学部食堂の改装に関しては、保健学研究科・海事科学研究科と連携を深め、改装により利便性が向上するように尽力します。

【5】大学貢献

- ・神戸大学オリジナルグッズの開発と販売に引き続き尽力します(大学のUI活動への貢献)。
- ・校費購入において、利便性が高まるように努力します。

【6】職員育成

2019年度は2名(2018年度は4名)を採用し、フードサービス事業部1名、総務部付(神戸親和女子大学生協に外向)1名を配属しました。2018年度の採用者は、店舗のマネジメントに挑戦するレベルに達しており、2019年度採用者も順調に育っています。

2021年度末までに2名の退職を予定しており、2020年度も2名の採用を予定しています。

【7】レジ袋等の有料化

2020年7月からの「レジ袋有料化を義務付ける制度改正(無料配布禁止)」に先がけて、2020年3月1日より手提げレジ袋を有料とします。また、手提げ紙袋についても同時に有料とし、容器包装の削減にも努めます※21。組合員へのご案内は2020年1月より開始しており、今後プラスチック製のフォーク・スプーン・ストローに関しては、代替品を検討していきます。

なお、有料化に伴う収益は、神戸大学基金に全額を寄付します。

※21) 神戸大学生協と致しましては、今回の制度改正への対応だけではなく、組合員一人ひとりがプラスチックごみ削減による環境への配慮、ならびに負荷軽減等の環境保護活動に参加していることを実感して頂き、環境問題を身近なこととして捉え、考えて頂く機会になればと考えています。



【8】新型コロナウイルスの対応

「新型コロナウイルスの感染拡大防止」の観点から、さまざまな学事日程や生協の学内イベントが中止になる可能性が高いです。大学と歩調を合わせ、感染防止に努めます。

●各事業活動個別事業方針

ショップ事業部

- (1)各店舗の損益構造の改善を進め、組合員を「支え」「応えられる」為に必要な収益を確保し、サービスレベルの向上と新たなサービス提供に向けた取り組みを強化します。
- (2)新学期事業と外商(校費)事業に偏った収益構造から、通常店舗活動での収益構成の増加を図り、通常期の労働生産性を高めます。
- (3)新学期事業(新入生支援活動)の更なる高次元化に向けた準備
今期はコロナウィルスの流行で中止となった入学準備説明会ですが、来季に向けてさらに内容を精査し、より発展した説明会を実施できるよう生協学生委員会の協力も得ながら準備を進めます。

＜目標数値＞	経常剰余率	3.1%	19年度	2.53%	18年度	0.48%
	人件費率	58.0%	19年度	61.16%	18年度	70.39%

フードサービス事業部

[事業剰余予算達成。利用者数の1%伸長を目指す]

「学食定期」の利用者にもしっかりと対応出来るように、年間を通じて企画を実施するなど、メニューに変化をつけて飽きのない商品構成に注力します。

今年度もムリ、ムダのない効率的な運営を目指し、物件費に関しては必要最低限に抑え、特に閑散期についてはさらなる効率化と合理化を目指した運営を行います。

《課題》

- (1)組合員の声を最大限に運営へ反映させていくよう努めます。全食堂にて統一アンケートを実施し、その結果を分析し改善すると共に運営にも活かしていきます。また、一言カードや日々の事業活動を通して、組合員の意見や要望に迅速な対応ができるようにします。
- (2)「心地よい空間」にて食事をしていただけるように、食堂ホールの cleanliness、設備・備品の維持管理、食器の洗浄に尽力します。
- (3)昼休みにしっかりと食事をしていただけるように、「スムーズな動線作り」と「スピーディな提供」、譲り合いの声かけによる「座席の確保」により、混雑緩和に取り組んでいきます。また、親切で丁寧な接客を心掛け、接客レベルの向上にも努めます。
- (4)いつ行っても食べたいメニューがしっかりとあり、おいしい状態で提供できるように品質向上に努めます。
- (5)各食堂のコンセプト策定を引き続き進めます。
- (6)食育の普及、啓蒙にも一層努めます。
- (7)毎年好評を頂いております生協祭(組合員還元企画)については、組合員に喜んでいただけるイベント的な企画を盛り込むなど拡充を計ります。保健学科食堂における改装工事期間中の昼食対応については、大学と連携しながら対応していきます。
- (8)職員の育成を進め、2021年度から新体制に移行スタートできるように準備を進めていきます。

また 2020 年度の職員採用についても検討していきます。

(9) 海事科学部食堂での夕食営業は、昨年度実績を踏まえながら、2020 年度も各クォーターの試験期間、ならびに1月～2月の卒論制作時期に行っていきます。

(10) 留学生への食事対応として LANS HALAL Vege Dining (LANSBOX 食堂2F) で提供しているメニューについて、ハラール、ベジタリアンはもちろん、より多くの留学生にご利用して頂けるように検討していきます。

(11) 閑散期については 2019 年度までの利用動向を分析し、営業時間、メニュー構成を見直していきます。

キャリア・就職支援企画課

2020 年度のテーマ「組合員を支え、頼られる生協」に則り、1 年間活動を行います。

これまでの内容をさらに発展させることはもちろんのこと、以下の取組みを新たに行っていきます。

(1) パソコン活用講座の改善

在校生および新入生向けに、より改善されたプログラムを提供できるよう、努力いたします。対面での講座は組合員に親身に寄り添う講座としてより洗練されるよう改善します。また、新型コロナウイルス感染症の影響でやむを得ず生まれたオンライン講座ですが、リスク管理の観点から有用であるため、より広いニーズに応えていけるような形で継続していきます。

(2) オンライン就職イベントの実施

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度は規模の大きなイベントの開催が危ぶまれます。そのため、オンラインでの就職イベントを増やすことで収入を安定させ、また、学生が進路選択にあたり不利益を被らないようしっかりとした情報収集が出来るよう尽力いたします。

(3) 対面での小規模イベントの実施

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響下にあることを前提とし、対面でのイベントは小規模なもの（現状では 50 名以下を想定）を実施していきます（「企業見学会」「関西企業との交流会」を予定）。

(4) メールマガジンの発行

今年度は計画されているイベントに変更が余儀なくされるなど、情報がイレギュラーに決まることが予想されます。そのため、メールマガジンを新たに始め、迅速かつ的確に学生へ情報を提供できるようにいたします。

学生委員 2020 年度方針

学生委員会次期委員長
逢坂 悠

2020 年度の学生委員会の活動方針は以下の通りです。

この方針をたてるにあたり、目指したことは、学生委員会の全ての委員に「委員会の目指す方向性を一致させる」ためであり、組合員の皆さんには「学生委員が生協内委員会として目指す方向性を共有する」ためであります。

活動方針は、ミッション・ビジョン・バリューの観点から説明します。

ミッション = 学生委員の使命・存在意義

ビジョン = ミッションを達成するために組織として目指す姿

バリュー = ミッションを達成するための行動指針

【ミッション】

学生目線の企画を通じて、組合員のキャンパスライフをより良くする。

【ビジョン】

組合員にとって必要不可欠な存在になる。

【バリュー】

〈学生委員会、そして学生委員に求める行動指針〉

- 1、現状に満足せず、常に向上心を持ち、行動する。
- 2、自分自身のやりがいを感じられるように、自分自身の活動に全力で取り組む。
- 3、良好な人間関係をもち、積極的に自分の考えを発し、他人の考えを受け入れられる関係になる。
- 4、委員会の一員としての自覚を持ち、定められた規則を守る。

〈企画、活動に際して必要な行動指針〉

- 1、徹底的に組合員目線で企画を進める。
- 2、自分のやりたいこと、組合員のニーズの差を埋めていく。
- 3、大阪・兵庫・和歌山エリアの推進分野を意識した企画を立案する。
- 4、オリジナリティー、クオリティー、ダイバーシティの3点を意識して企画を立案する。

以上を活動方針として、学生委員会は 2020 年度活動に取り組みます。

第2号議案-2 2020年度予算

事業計画に則した『組合員を「支え」「応えられる」生協に』を目指し、新入生支援活動・日々の事業と活動を活性化させ、当期剰余金 210 万円の予算を作成することができました。しかし2月以降、「新型コロナウイルス」による影響が刻一刻と大きくなっており、2020年度にも大きな影響が発生することが明白となり、当初の予算から修正せざるを得ないと判断しました。

修正の結果、当期損失金約 1,706 万円の赤字予算となります。ただし、これ以上の影響が発生する可能性もあることを付記します。

【1】2020年度予算(案)と修正後予算

<単位：千円>

2020年度 予 算	総合計	2020年度 予 算		
		ショップ 事業部計	フードサービス 事業部計	総務部計
供給高	2,569,603	1,832,306	737,297	0
供給剰余金	672,330	253,608	418,722	0
G P R	26.2%	13.8%	56.8%	0.0%
その他収入計	163,721	95,362	0	68,359



2020年度 予 算	総合計	2020年度 予 算修正	2020年度 予 算修正				
			ショップ 事業部計	フードサービス 事業部計	総務部計		
事業総剰余金	836,051	348	2,503,213	1,777,106	726,107	0	
人件費計	543,593	198	656,164	244,712	411,452	0	
物件費計	310,691	79	G P R	26.2%	13.8%	56.7%	0.0%
事業経費合計	854,284	278	その他収入計	160,721	95,362	0	65,359
事業剰余金	▲18,233	70	事業総剰余金	816,885	340,074	411,452	65,359
事業外収益	19,633	7	人件費計	543,593	198,886	255,539	89,168
事業外費用	0		物件費計	310,691	79,768	128,960	101,963
経常剰余金	1,400	77	事業経費合計	854,284	278,654	384,499	191,131
特別利益	0		事業剰余金	▲37,399	61,420	26,953	▲125,772
特別損失	0		事業外収益	19,633	7,543	7,525	4,565
当期剰余金	1,400	77	事業外費用	0	0	0	0
			経常剰余金	▲17,766	68,963	34,478	▲121,207
			特別利益	0			
			特別損失	0			
			当期剰余金	▲17,766	68,963	34,478	▲121,207

【2】2020 年度予算(案)と 2019 年度実績の対比は以下の表の通りとなります

<単位：千円>

2020年度 予 算	総合計	ショップ 事業部計	フードサービス 事業部計	総務部計	2019年度 実 績	対比
純供給高	2,503,213	1,777,106	726,107	0	2,583,753	▲3.1
供給剰余金	656,164	244,712	411,452	0	693,815	▲5.4
G P R	26.2%	13.8%	56.7%	0.0%	26.9%	▲0.6
その他収入計	160,721	95,362	0	65,359	123,333	30.3
事業総剰余金	816,885	340,074	411,452	65,359	817,148	▲0.0
人件費計	543,593	198,886	255,539	89,168	552,495	▲1.6
物件費計	310,691	79,768	128,960	101,963	315,344	▲1.5
事業経費合計	854,284	278,654	384,499	191,131	867,839	▲1.6
事業剰余金	▲37,399	61,420	26,953	▲125,772	▲50,691	▲26.2
事業外収益	19,633	7,543	7,525	4,565	24,350	▲19.4
事業外費用	0	0	0	0	13,782	▲100.0
経常剰余金	▲17,766	68,963	34,478	▲121,207	▲40,123	▲55.7
特別利益	0				9,948	▲100.0
特別損失	0				84	▲100.0
当期剰余金	▲17,766	68,963	34,478	▲121,207	▲30,259	▲41.3

【3】予算の特徴

1. 供給高

2019 年度実績△3.1%で、GPR(供給剰余率)は△0.6%、供給総剰余は△5.4%の予算で、3 月
度の予算に、新型コロナウイルスの影響を想定した編成となっています。

その他収入は増収を目指します。事業総剰余にて 2019 年度実績並みの予算編成です。

2. 経 費

- ① 人件費は、正規役職員 27 名(出向職員 4 名を含む)、定時職員 7 名、パートタイマー約 260 名の
人員体制で計画しています。年間を通して超勤時間の削減、合理的な稼働計画表の作成、10 月
の最低賃金改定等も想定しての予算となっています。

正規職員の賞与は年間 3.6 ヶ月で予算を編成していますが、損益状況に応じて、変動します。

- ② 物件費は、生協 IC カードのポイント付与や食堂の改装と備品購入を計上しています。

3. 剰 余

この結果、経常剰余金・当期剰余金は△1,777 万円となります。

【4】神戸大学生協合計と各事業部の予算(案)は以下の通りです。

2020 年度部門別収支予算

〈単位：千円〉

	合 計	ショップ 事業部	フードサービス 事業部	総務部
総供給高	2,523,825	1,797,718	726,107	0
供給値引	20,612	20,612	0	0
純供給高	2,503,213	1,777,106	726,107	0
供給剰余金	656,164	244,712	411,452	0
G P R	26.21%	13.77%	56.67%	0.00%
共済受託手数料収入	18,700	0	0	18,700
教育文化事業収入	900	0	0	900
供給事業手数料収入	391	391	0	0
その他手数料収入	140,730	94,971	0	45,759
その他事業収入計	160,721	95,362	0	65,359
事業総剰余金	816,885	340,074	411,452	65,359
役員報酬	8,499	0	0	8,499
職員給与	129,346	69,510	41,380	18,456
定時職員給与	336,093	108,929	195,283	31,881
退職給付費用	6,900	0	0	6,900
法定福利費	40,838	15,982	15,124	9,732
厚生費	6,285	1,565	3,752	968
役員退職給与引当金繰入	732	0	0	732
賞与引当金繰入	12,000	0	0	12,000
派遣人件費	2,900	2,900	0	0
人件費合計	543,593	198,886	255,539	89,168
教育文化費	2,729	0	29	2,700
広報費	17,521	10,730	201	6,590
消耗品費	48,364	10,119	27,910	10,335
物流費	0	0	0	0
車輛運搬費	7,821	5,108	1,323	1,390
貸倒引当金繰入	0	0	0	0
施設維持管理費	22,088	3,946	14,312	3,830
減価償却費	15,288	2,652	11,652	984
賃借料	7,058	1,728	65	5,265
水道光熱費	46,136	5,984	39,391	761
保険料	1,654	1,003	346	305
委託料	36,968	17,667	9,046	10,255
研修採用費	3,318	460	2,018	840
調査研究費	821	416	230	175
会議費	1,827	497	325	1,005
諸会費	8,582	222	0	8,360
渉外費	586	1	0	585
租税公課	812	12	0	800
通信交通費	10,024	4,750	1,084	4,190
雑費	22,046	1	100	21,945
事業連合委託費	57,048	14,472	20,928	21,648
物件費合計	310,691	79,768	128,960	101,963
事業経費合計	854,284	278,654	384,499	191,131
事業剰余金	▲37,399	61,420	26,953	▲125,772
事業外収益	19,633	7,543	7,525	4,565
事業外費用	0	0	0	0
経常剰余金	▲17,766	68,963	34,478	▲121,207
特別利益	0		0	0
特別損失	0		0	0
税引前当期剰余金	▲17,766	68,963	34,478	▲121,207

【5】2005 年度実績から 2020 年度予算を、事業総剰余(供給剰余+その他収入)・人件費・物件費・当期剰余金・累積剰余金の推移を表した表とグラフは以下の通りです。

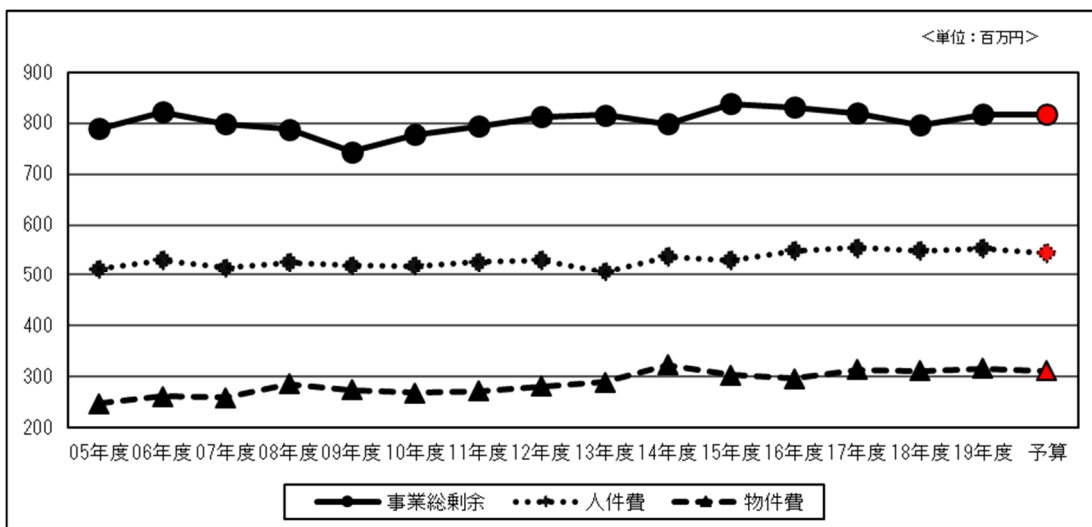
① 推移表

<単位：千円>

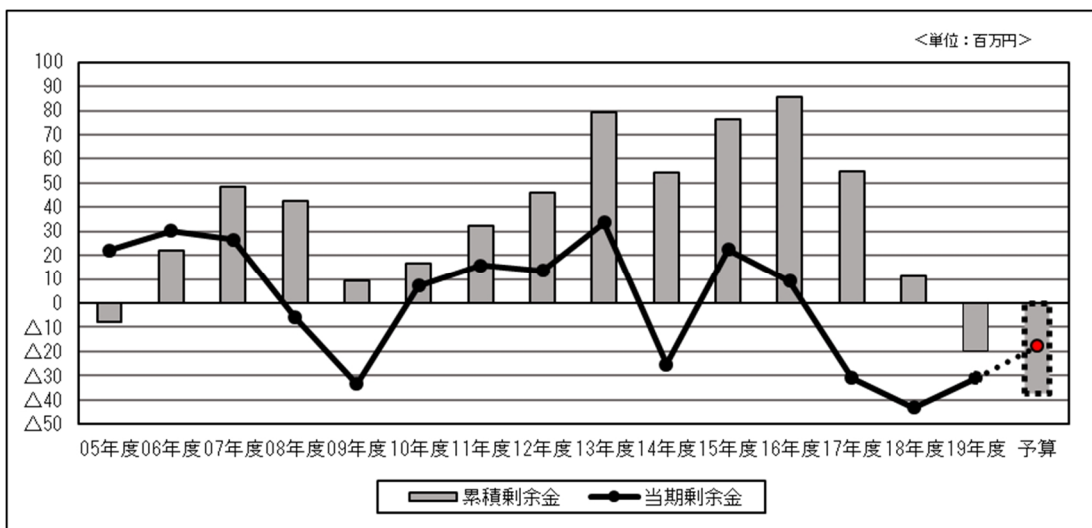
	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度
事業総剰余	789,700	822,071	798,958	788,687	744,706	777,517	794,399	813,504
人件費	513,861	530,430	516,043	525,530	520,110	518,748	526,770	530,405
物件費	247,131	261,149	258,953	286,486	274,264	268,180	272,143	281,119
当期剰余金	22,123	30,121	26,437	△5,961	△33,409	7,133	15,894	13,546
累積剰余金	△7,868	22,253	48,690	42,728	9,320	16,453	32,346	45,892

	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	予算
事業総剰余	815,843	798,695	838,231	831,804	819,642	796,573	817,148	816,885
人件費	507,541	537,468	531,042	549,505	554,917	549,870	552,495	543,593
物件費	289,592	323,776	303,321	296,283	314,045	311,946	315,344	309,991
当期剰余金	33,559	△25,367	22,363	9,153	△30,951	△43,259	△31,282	△17,766
累積剰余金	79,451	54,084	76,447	85,600	54,650	11,391	△19,891	△37,657

② 事業総剰余・人件費・物件費の推移グラフ



③ 当期剰余金・累積剰余金の推移グラフ



第3号議案 2020年度役員選出の件

生協の運営を担う役員(理事・監事)は、総代会にて総代の皆様から選出されます。役員選挙管理委員会のもと、役員立候補及び理事会での推薦を受けた役員候補者は、以下の28名となります。

【1】選出をお願いする役員(理事・監事)は以下の通りです。

【理事候補25名】

選出区	氏名	所属・学年
院生・学生区	片岡 亮太	経営学研究科1年生(前理事)
	硯 愛画	工学研究科1年生(新人)
	高木 大輝	農学部4年生(前理事)
	山本 七颯	国際人間科学部3年生(前理事)
	横澤 瑠辰	法学部3年生(前理事)
	若宮 聖真	経済学部3年生(前理事)
	是永 恭兵	経済学部3年生(新人)
	金澤 海渡	経営学部3年生(前理事)
	栗 大輝	経営学部3年生(前理事)
	神田橋 文恵	理学部3年生(新人)
	吉村 源太	法学部2年生(新人)
	逢坂 悠	経済学2年生(新人)
	眞鍋 泰自	経営学部2年生(新人)
	中川 歩美	農学部2年生(新人)
教職員区	西野 友年	理学研究科教員(前理事)
	向井 洋一	工学研究科教員(前理事)
	朴 鐘祐	人文学研究科教員(前理事)
	横川 博一	大学教育推進機構教員(前理事)
	笹 健児	海事科学研究科教員(前理事)
	石丸 幸勢	附属中等教育学校教員(前理事)
	小澤 卓也	国際文化学研究科教員(新人)
	長坂 耕作	人間発達環境学研究科(新人)
その他	坂本 安弘	常勤役員(前理事)
	木村 祐一	生協職員(前理事)
	岡川 功	生協職員(前理事)

【監事候補3名】

選出区	氏名	所属・学年
全体区	大谷 恭弘	工学研究科教員(前監事)
	湯浅 英男	元国際文化学研究科教員(前理事)
	林 靖博	学務部学生支援課職員(新人)

【2】役員任期

1年間

※本総代会で任期を満了する役員は以下の通りです。

【理事】

西野 友年(教員)	湯淺 英男(教員)	向井 洋一(教員)	加藤 佳子(教員)
朴 鐘祐(教員)	横川 博一(教員)	笹 健児(教員)	石丸 幸勢(教員)
渡邊 優衣(院生)	吉田 朋高(院生)	片岡 亮太(学生)	高木 大輝(学生)
菊池 奈々子(学生)	川崎 隆生(学生)	東 朋樹(学生)	山本 直輝(学生)
栗 大輝(学生)	横澤 瑠辰(学生)	若宮 聖真(学生)	金澤 海渡(学生)
山本 七颯(学生)	木村 祐一(専従)	岡川 功(専従)	坂本 安弘(専従)

以上 24 名

【監事】

大谷 恭弘(教員) 長谷川 浩樹(職員) 吉元 えりか(学生)

以上 3 名

第 4 号議案 定款の一部変更

以下のとおり、定款の改正を提案します。

改定(案)	現行
(事業の品目等) 第68条 (略) 2 (略) 3 第3条第2号に規定する生活の共済を図る事業は、次に掲げるものとする。 (1)全国大学生協共済生活協同組合連合会が行う短期生命共済事業及び短期火災共済事業の業務の一部を受託する受託共済事業 (2)日本コープ共済生活協同組合連合会が行う学生総合共済事業の業務の一部を受託する受託共済事業 4 (略)	(事業の品目等) 第68条 (略) 2 (略) 3 第3条第2号に規定する生活の共済を図る事業は、全国大学生協共済生活協同組合連合会が行う生命共済事業及び火災共済事業の業務の一部を受託する受託共済事業とする。 4 (略)

改正の理由

- ①全国大学生協共済生活協同組合連合会の長期の生命共済事業及び長期の火災共済事業が廃止されましたので、事業名称を現在実施している短期生命共済事業及び短期火災共済事業に改正します。
- ②これまで全国大学生協共済生活協同組合連合会が行ってきた共済事業を日本コープ共済生活協同組合連合会と共同引受をします。その業務の一部を受託するため追加します。

第5号議案 役員選挙規約一部改正の件

役員選挙規約の第3条を以下の通り改正することを提案します。

改定(案)	現行
<p>(不適格者) 第3条 生協法の規定により役員となることができない者のほか、<u>破産手続き開始の決定を受け、復権していない者は役員としての被選挙権を有しない。</u> 〔削除〕 〔削除し、条文本文に含める〕</p>	<p>(不適格者) 第3条 生協法の規定により役員となることができない者のほか、<u>以下の者は役員としての被選挙権を有しない。</u> (1) <u>被補助人</u> (2) <u>破産手続き開始の決定を受け、復権していない者</u></p>

改正の理由は、「成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律」の成立(2019年6月7日)に伴い、生協法の「被後見人等」を一律に役員資格から排除する規定(欠格規定)が見直され、個別の状況により必要な能力の有無を判断する規定(個別審査規定)に改正されました。この法改正を受け、現行の「役員選挙規約」第3条で一律に欠格事由としていた「被補助人」を削除し、条文の一部を改正します。

参考資料

・生協法の改正

生協法改正後	生協法改正前
<p>(不適格者) 第29条の3 次に掲げる者は、役員となることができない。 一 (略) 二 心身の故障のため職務を適正に執行することができない者として厚生労働省令で定めるもの</p>	<p>(不適格者) 第29条の3 次に掲げる者は、役員となることができない。 一 (略) 二 成年被後見人若しくは被保佐人または外国の法令上これらと同様に取り扱われる者</p>

・生協法施行規則(条文を追加)

第57条の3・法第29条の3第1項第2号厚生労働省令で定めるものは、精神の機能の障害により役員職務を適正に執行するにあたって必要な認知、判断および意思疎通を適切に行うことができない者とする。

第6号議案 役員報酬決定の件

役員の年間報酬(6月～5月)について、下記の総額の範囲で理事会が定める役員報酬規則および役員退職金規則にもとづいて支給すること、および各役員の報酬額・支給方法などについては、理事に関しては理事会に、監事に関しては監事の協議に委ねることを提案します。

【1】理事1名の報酬 総額 900万円

【2】監事への報酬はありません。

第7号議案 議案効力発生の特

本総代会で承認・議決された事項について、官庁等への届け出等については、官庁などから指導を受けた場合等に、議決の趣旨に反しない範囲内で字句の修正等をさせていただくことを2020年度新理事会に一任願います。

※生協は、消費生活協同組合法に基づいて各種の申請・届け出を兵庫県知事に対して行う必要があります。また、旅行業、宅地建物取引業なども行っており、各業法に基づく届け出も監督官庁に行います。これらの届け出に対してそれぞれの監督官庁は場合に応じて指導などを行うことがあります。この場合に総代会議決の趣旨に反しない範囲で字句などの修正を2020年度理事会に一任していただくことを定めるものです。